

トヨタ純正 リバース連動ミラー

取付要領書

このたびは、トヨタ純正リバース連動ミラーをお買い上げいただきありがとうございます。
本書はリバース連動ミラーの取り付け要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

品番

08641-58140

構成部品

No.	品名	品番	個数
①	コントローラー	08642-00080	1
②	メモリアクチュエーター	—	1
③	センサーハーネス (識別記号 [Hム])	—	1
④	メインハーネス (識別記号 [Rモ])	—	1
⑤	サブハーネス (識別記号 [Rヤ])	—	1
⑥	コネクタ (白色 5P メス)	—	1
⑦	コネクタ (白色 2P オス)	—	1
⑧	クランプ	—	12
⑨	スポンジテープ	—	2
⑩	タグ	—	1

取り付けに必要な工具・部品等

一般工具、モールディングリムーバー、クリップリムーバー、ニッパー、ハサミ、メジャー（布）、スケール、保護テープ、ビニールテープ、針金、トルクレンチ（10mm）、小型トルクレンチ（プラスソケット）、精密ドライバー（-）、脱脂剤等、ウエス

取り付け上の注意事項

この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

⚠ 注意 … 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷するなどの恐れがあります。

👉 アドバイス … スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

- (1) 車を水平な場所に停車してパーキングブレーキを引き、輪止めを確実に行ってください。
- (2) 下回り作業中は安全に配慮し、エンジン始動及び乗車は絶対にしないでください。
- (3) 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時には間違いのないように配慮してください。また、車両及び取りはずした部品に傷を付けないよう取り扱いには十分注意してください。
- (4) バッテリー復元作業終了後、車両機能部品に初期化が必要な部品がありますので、作業終了後は必ず初期化作業を行ってください。
- (5) 貼り付け面に油脂分や汚れが付いていると脱落、剥がれの原因になりますので、脱脂剤等で十分に拭き取り、脱脂してください。
- (6) 脱脂剤等を使用する場合は、火気に十分注意してください。

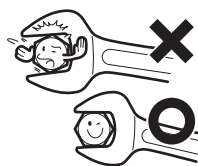
取り付ける前に

- バッテリーの(-)側ケーブルははずす

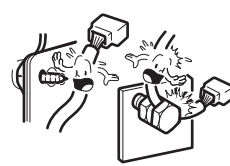


部品の取り付けは

- 寸法にあった工具を使う

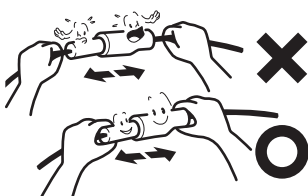


- 裏側に注意し、ハーネス噛み込みに注意する



配線は

- コネクターは本体を持ってはずす



- 車両ハーネスとまとめたり、クランプを使用して固定する



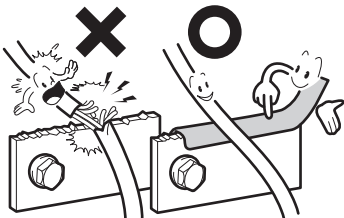
- コネクターは確実に接続する



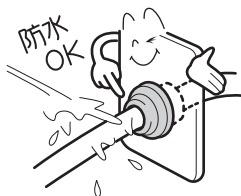
- 無理に引っ張らない



- バリ・エッジ部は保護シート等で保護する



- グロメットから配線する場合は、防水処理を完全にする

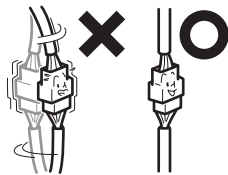


- 車両部品が確実に復元できるようハーネスを処理する



クランプは

- クランプは締めすぎない
- 余った部分をカットする
- カットした末端が他のハーネスと接触しないようにする
- コネクターを異音が出ないようにクランプする
- カットした末端が鋭利にならないようにカットする(ケガ防止)



取り付け完了後は

- 車両部品は確実に復元



⚠ 注意

バッテリー接続中に作業を行う場合は、エアバッグセンサー等に衝撃を与えないよう十分注意してください。

始業点検

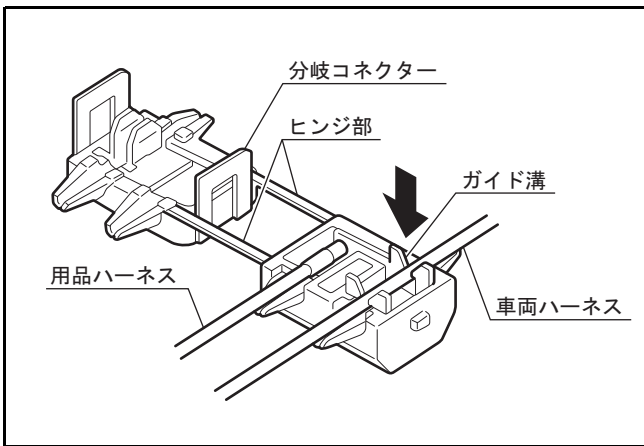
ドアミラー・ドアロック・パワーウインドウ等、電気系統の作動確認を実施してください。

分岐コネクターの接続方法

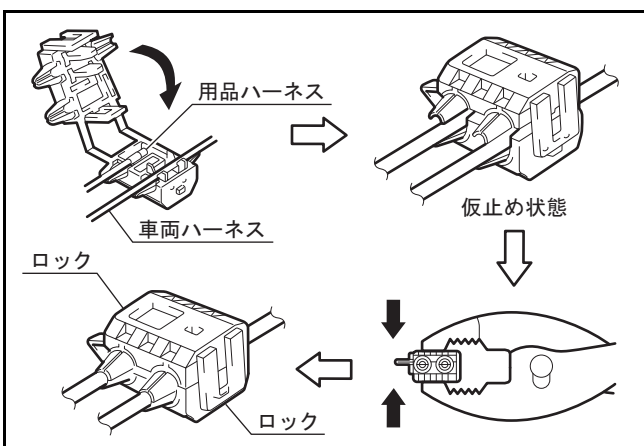
分岐コネクター使用上の注意事項

- (1) 車両のビニールチューブ等をカットする際は、車両ハーネスを傷付けないように十分注意してください。
- (2) 分岐コネクターは、他の用品が装着されている場合でも必ず車両ハーネスに接続してください。
- (3) 分岐コネクター接続時に、クリック音と合わせてロック（2箇所）が確実に嵌合したことを確認してください。
- (4) 接続するコネクターの端子番号及び用品ハーネスと車両ハーネスの線色を確認し、誤った接続をしないよう十分注意してください。
- (5) 同一コネクターに複数の分岐コネクターを接続する場合は、接続位置をずらしてください。
- (6) ヒンジ部が破損しても確実にロック（2箇所）できれば性能上問題ありません。
- (7) 一度使用した分岐コネクターは再使用しないでください。誤って接続した場合、分岐コネクターを車両ハーネスに付けたまま用品ハーネスを切断し、ビニールテープで絶縁処理をしてください。

分岐コネクターの接続手順

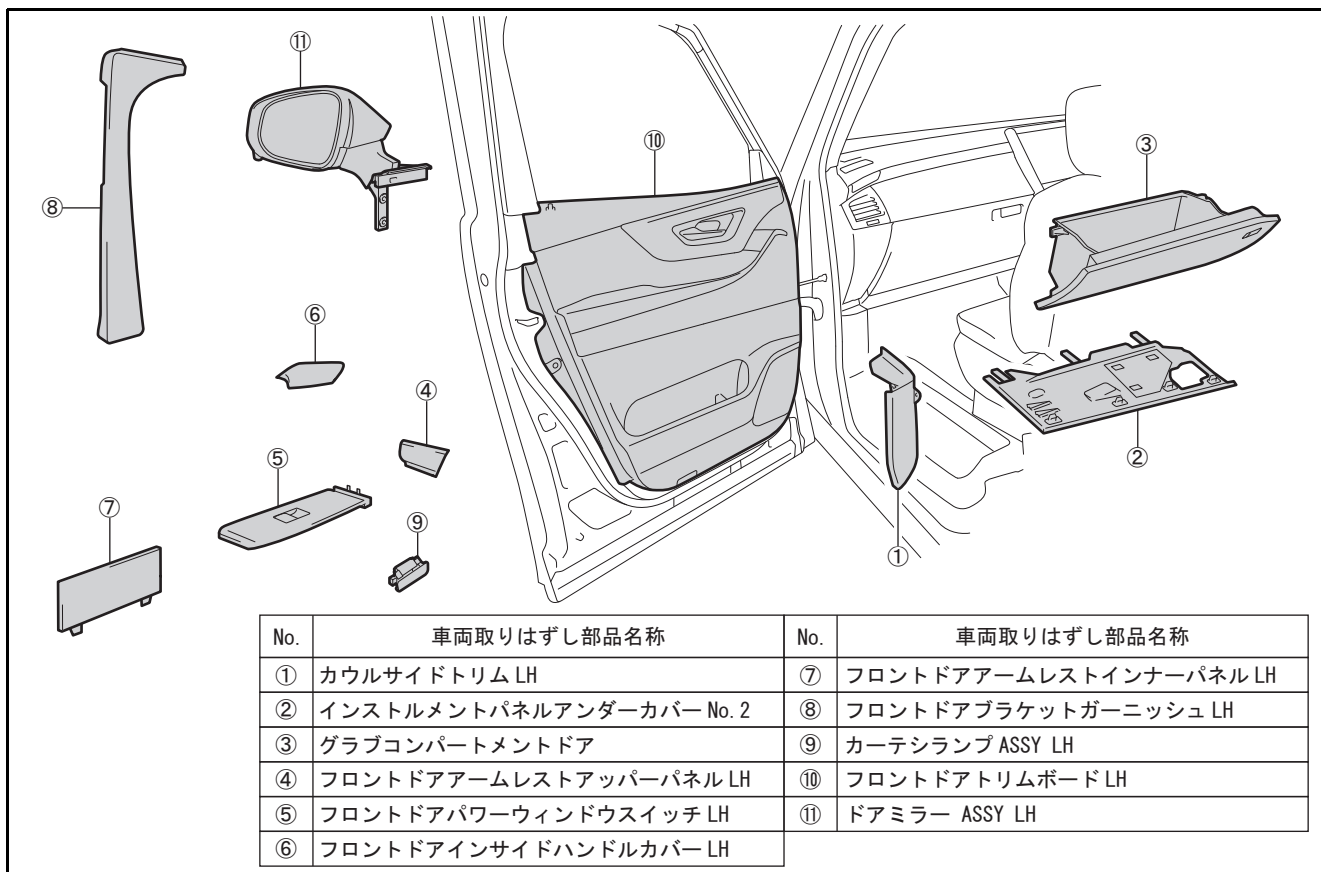


1. 接続する車両ハーネスがビニールチューブ及びビニールテープで覆われている場合は、適量をカットしてください。
2. 接続する車両ハーネスを確実にガイド溝へ挿入してください。

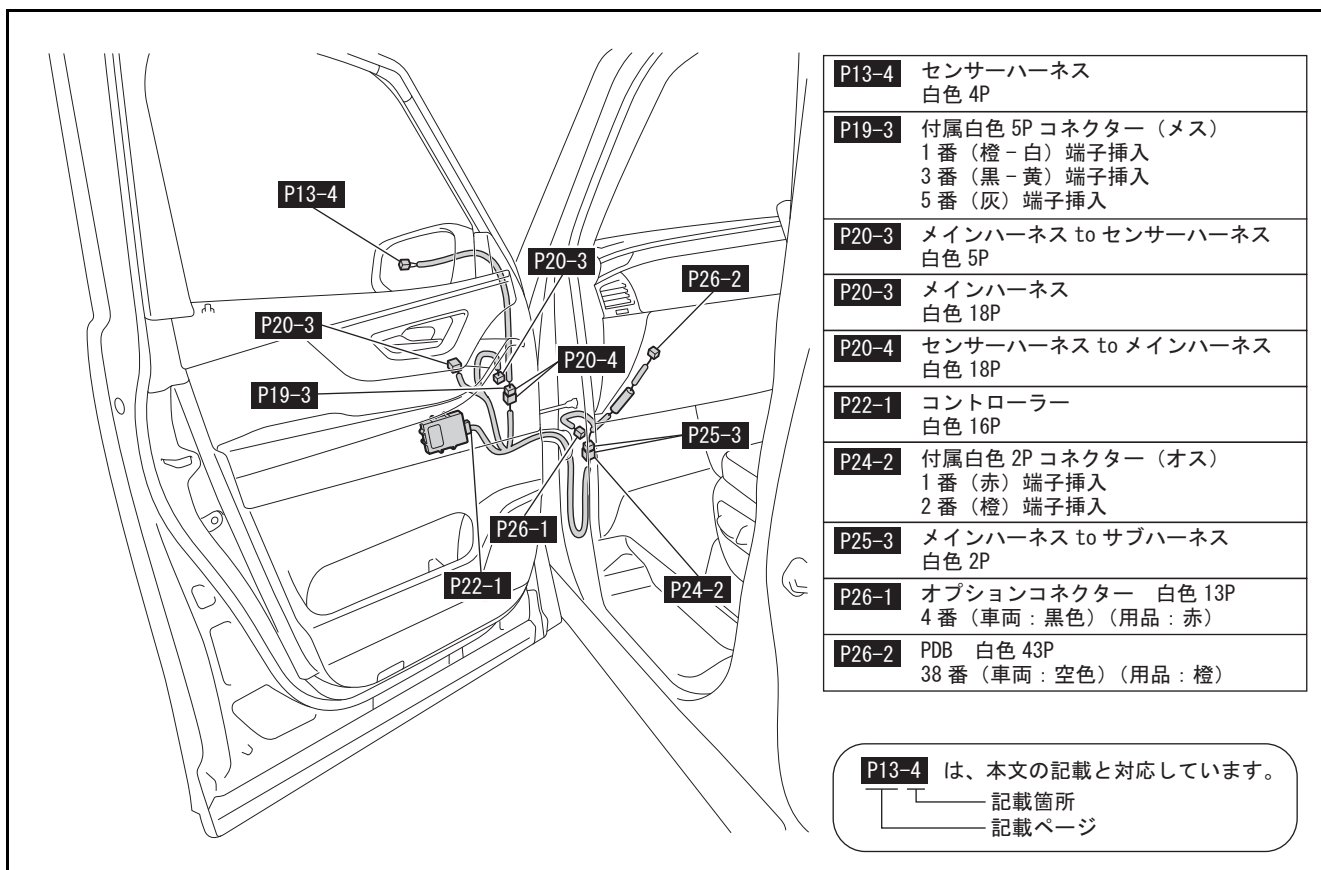


3. 車両ハーネスをガイド溝に収めた後、分岐コネクターを折り返し仮止め状態を作り、プライヤー等の工具を使用して左右のロックがかかるまで確実に挟み込んでください。（クリック音を確認）
4. 分岐コネクターの異音防止の為、ビニールテープを巻いて処理してください。

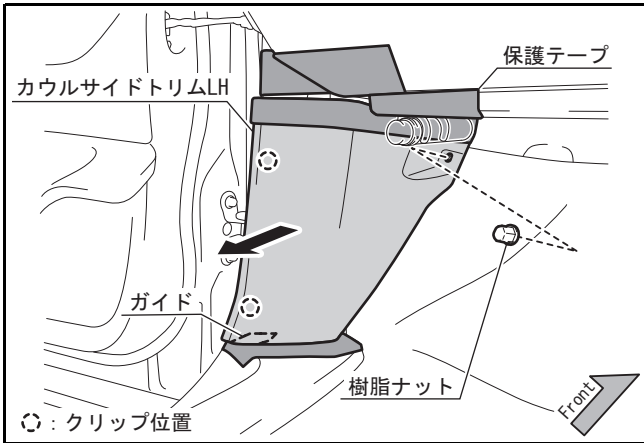
車両部品の取りはずし概要



配線概要

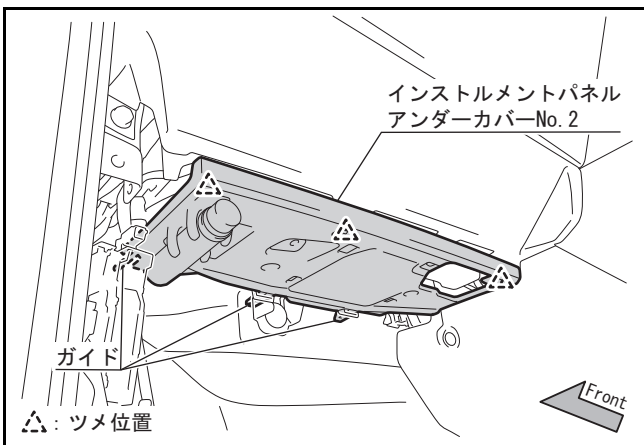


車両部品の取りはずし要領



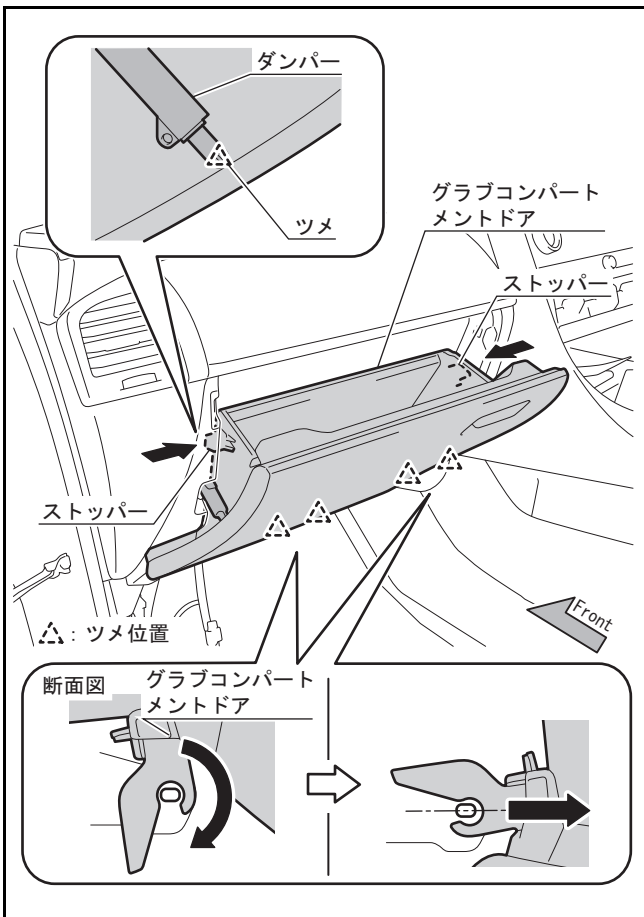
カウルサイドトリム LH の取りはずし

1. カウルサイドトリム LH 及びカウルサイドトリム LH の周りに傷付き防止用の保護テープを貼り付ける。
2. 樹脂ナット及びクリップ (2箇所) の嵌合をはずし、カウルサイドトリム LH を矢印方向に取りはずす。



インストルメントパネルアンダーカバー No. 2 の取りはずし

1. ツメ (3箇所) の嵌合をはずし、インストルメントパネルアンダーカバー No. 2 を取りはずす。

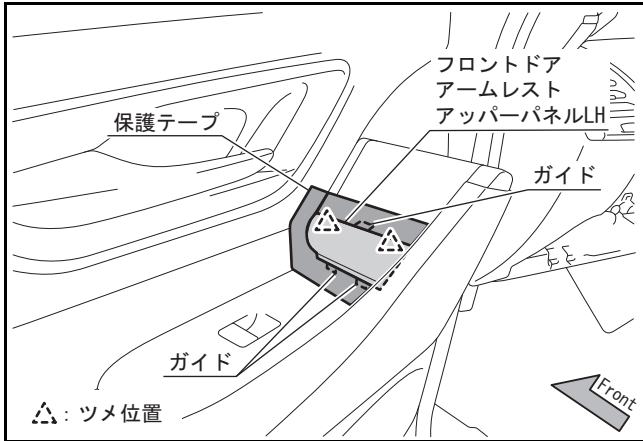


グラブコンパートメントドアの取りはずし

1. 図に従い、ツメの嵌合をはずし、グラブコンパートメントドアからダンパーの接続をはずす。
2. グラブコンパートメントドアの両サイドを内側へ押し、インストルメントパネルからストッパーをはずす。
3. グラブコンパートメントドアを水平近くまで開き、ツメ (4箇所) の嵌合をはずして取りはずす。

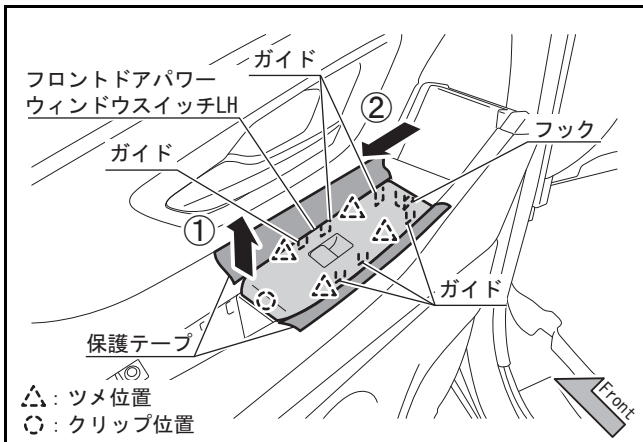
⚠ 注意

必ずグラブコンパートメントドアを水平近くまで開いてから取りはずしてください。復元後のガタ付きの発生原因となります。



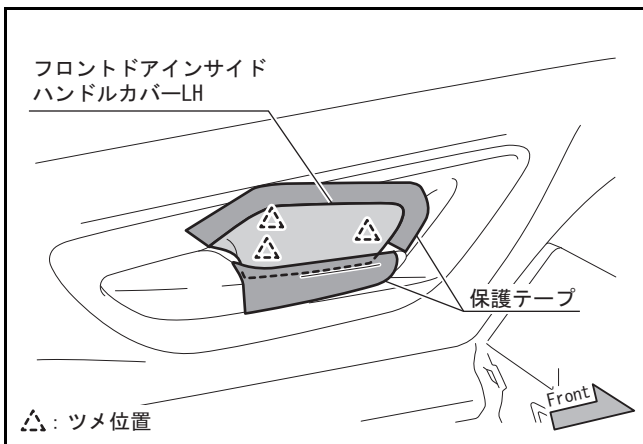
フロントドアアームレストアッパーパネル LHの取りはずし

1. フロントドアアームレストアッパーパネル LHの周りに傷付き防止用の保護テープを貼り付ける。
2. ツメ (2箇所) の嵌合をはずし、フロントドアアームレストアッパーパネル LHを取りはずす。



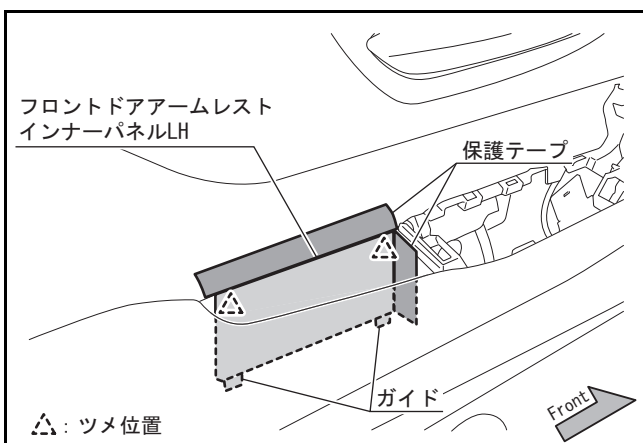
フロントドアパワーウィンドウスイッチ LHの取りはずし

1. フロントドアパワーウィンドウスイッチ LHの周りに傷付き防止用の保護テープを貼り付ける。
2. ①の方向に引きクリップ (1箇所) 及びツメ (4箇所) の嵌合をはずす。
3. ②の方向に引きフックの嵌合をはずし、フロントドアパワーウィンドウスイッチ LHを取りはずす。



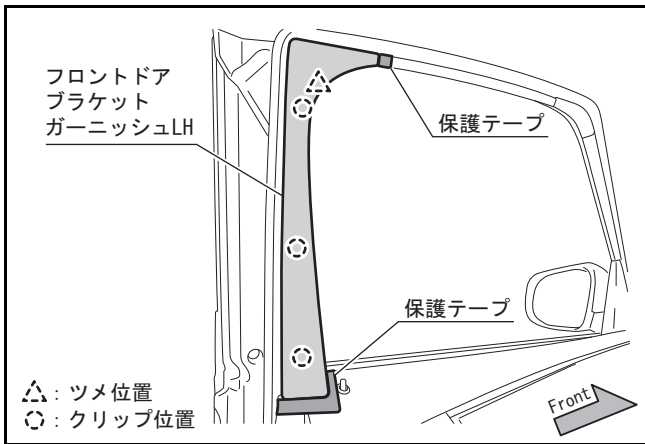
フロントドアインサイドハンドルカバー LHの取りはずし

1. フロントドアインサイドハンドルカバー LHの周りに傷付き防止用の保護テープを貼り付ける。
2. ツメ (3箇所) の嵌合をはずし、フロントドアインサイドハンドルカバー LHを取りはずす。



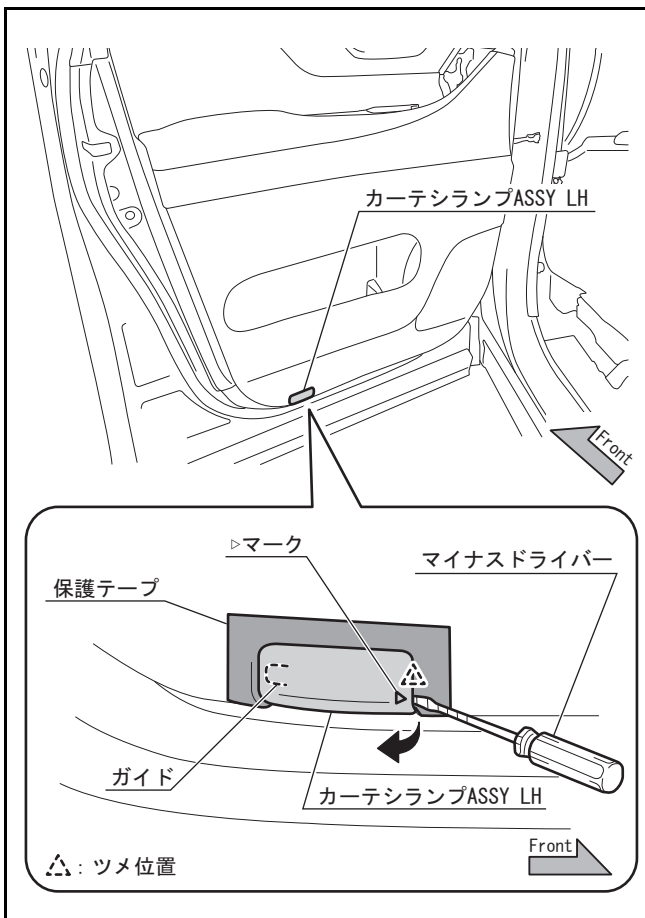
フロントドアアームレストインナーパネル LHの取りはずし

1. フロントドアアームレストインナーパネル LHの周りに傷付き防止用の保護テープを貼り付ける。
2. ツメ (2箇所) の嵌合をはずし、フロントドアアームレストインナーパネル LHを取りはずす。



フロントドアブラケットガーニッシュ LH の取りはずし

1. フロントドアブラケットガーニッシュ LH の周りに傷付き防止用の保護テープを貼り付ける。
2. クリップ (3箇所) 及びツメ (1箇所) の嵌合をはずし、フロントドアブラケットガーニッシュ LH を取りはずす。

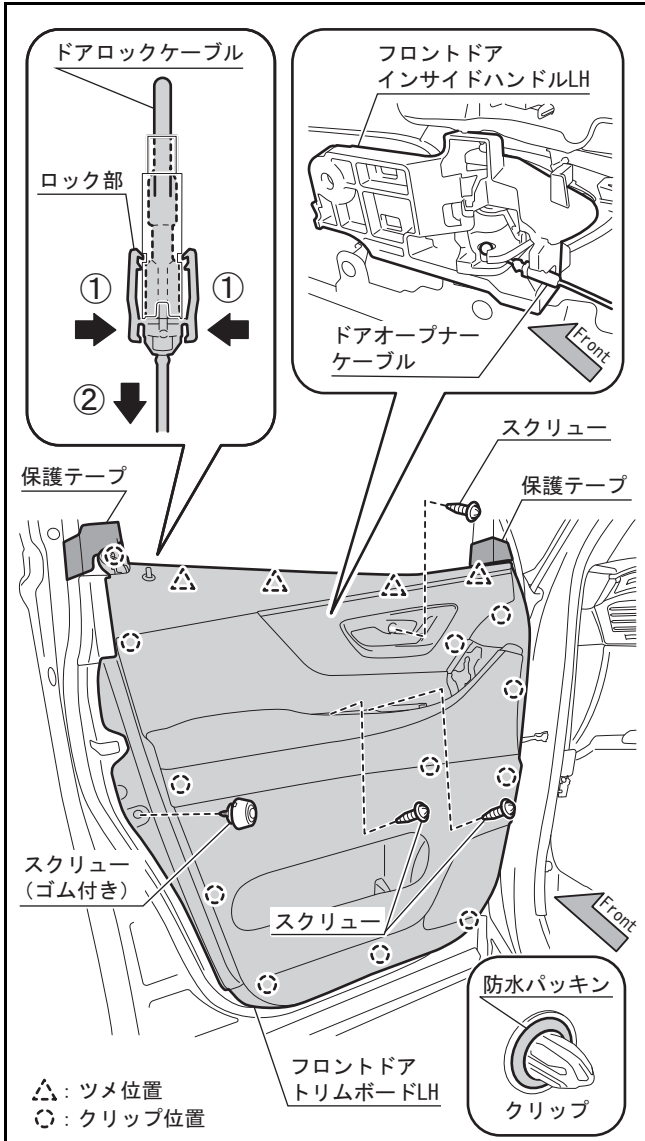


カーテシランプ ASSY LH の取りはずし

1. カーテシランプ ASSY LH の周りに傷付き防止用の保護テープを貼る。
2. 保護テープを巻いたマイナスドライバーを使用してツメの嵌合をはずし、カーテシランプ ASSY LH を取りはずす。

アドバイス

「▷マーク」が付いている方からマイナスドライバーを差し込んでください。



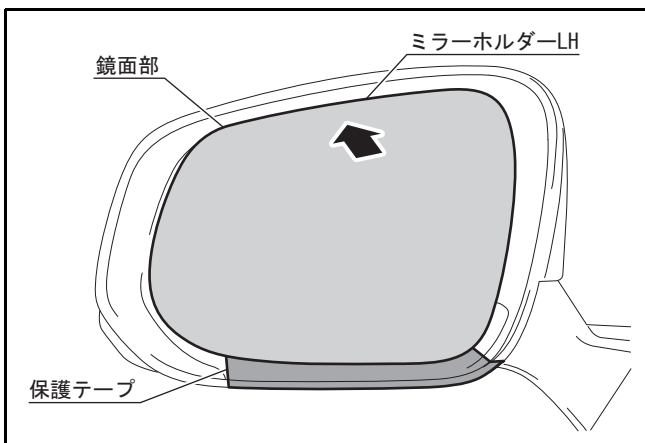
フロントドアトリムボードLHの取りはずし

1. 図に従い、フロントドアトリムボードLHのガラスフレーム部に傷付き防止用の保護テープを貼り付ける。
2. スクリュー（4本）及びクリップ（12箇所）、ツメ（4箇所）の嵌合をはずす。
3. フロントドアインサイドハンドルLHからドアオープナーケーブルをはずす。
4. ドアロックケーブルのロック部を①の方向に押し、嵌合をはずす。
5. ②の方向にドアロックケーブルを引き、取りはずす。
6. フロントドアトリムボードLHを取りはずす。

⚠ 注意

- (1) クリップの防水パッキンの脱落に注意してください。
- (2) クリップの防水パッキンがドアパネル側に残っている場合は、クリップ側に付け直してください。
- (3) フロントドアトリムボードLHを元に戻す際は、フロントドアインサイドハンドルLHの状態を確認し、動きがスムーズで、引っ掛かりがないことを確認してください。

フロントドアインサイドハンドルLHの動きが悪い、引っ掛かりがある場合は、フロントドアインサイドハンドルLHの取付状態を確認してください。正しくフロントドアインサイドハンドルLHが装着されていない場合、脱落するおそれがあります。

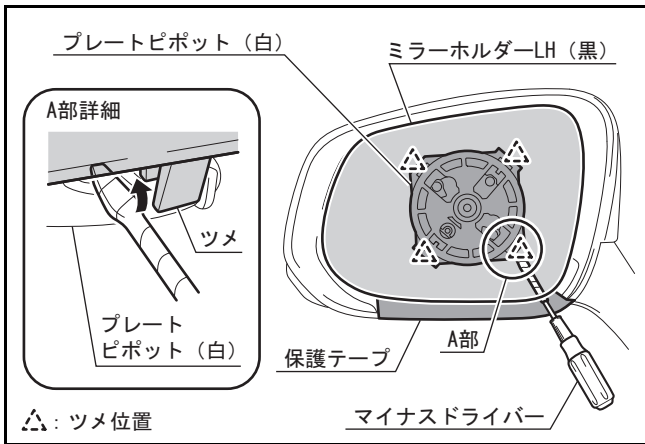


ミラーホルダーLHの取りはずし

⚠ 注意

- (1) 鏡面部に指紋や汚れを付けないよう布手袋をするか、きれいな布を当てて鏡面部を押ししてください。
- (2) ミラーホルダーLHは再使用する為、無理に引っ張ってツメを破損させたり、意匠面に傷をつけないよう慎重に作業をしてください。

1. ドアミラーボデーの下側に傷付き防止用の保護テープを貼り付ける。
2. 鏡面上部を押し、鏡面部を上向きに傾ける。



3. 図に従い、保護テープを巻いたマイナスドライバーをミラーホルダー LH (黒) とプレートピボット (白) の間に挿入し、ツメ (1箇所) の嵌合をはずす。

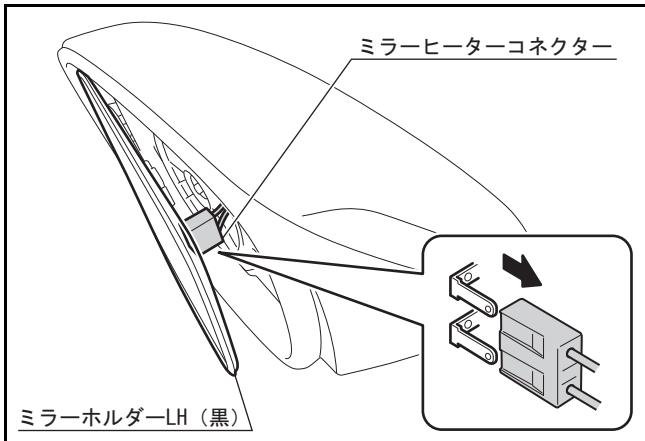
⚠ 注意

嵌合をはずさずに無理にミラーホルダー LH (黒) を引くと、アクチュエーター機構部がはずれたり、鏡面部が割れる恐れがありますので十分注意してください。

4. 嵌合をはずし、隙間ができたミラーホルダー LH (黒) とプレートピボット (白) の間に保護テープを巻いたマイナスドライバーを挿入し、残りのツメ (3箇所) の嵌合をはずす。

⚠ 注意

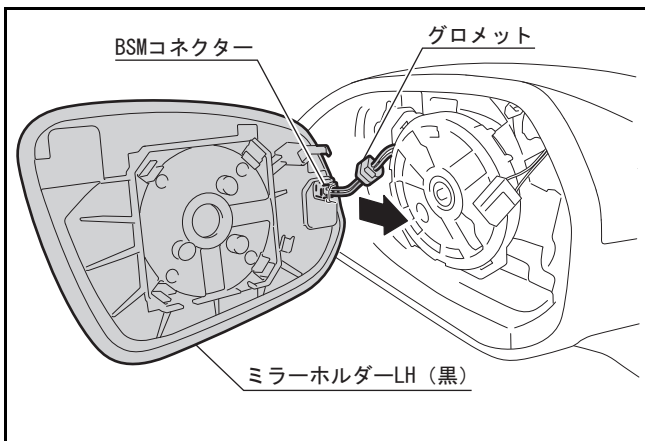
取りはずしたミラーホルダー LH (黒) は、破損しないよう復元時まで大切に保管してください。



5. ミラーヒーター付き車は、ミラーホルダー LH (黒) 背面からミラーヒーターコネクタを矢印方向にはずす。

⚠ 注意

ミラーホルダー側端子、ヒーター回路の破損及び車両ハーネスが断線しないよう慎重に作業をしてください。

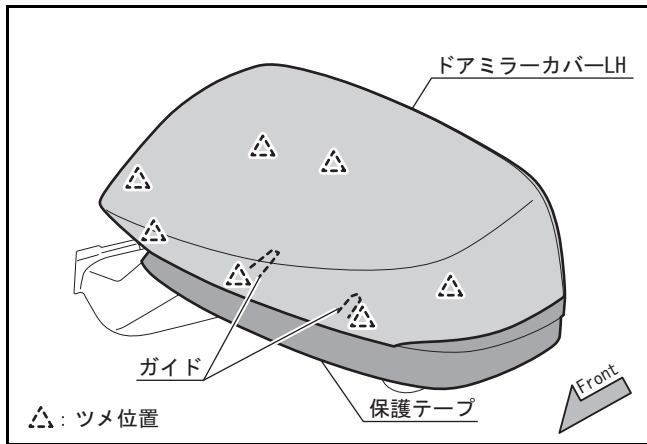


6. BSM 付き車は、ミラーホルダー LH (黒) 背面から BSM のグロメットとコネクタをそれぞれはずす。

⚠ 注意

ミラーホルダー側端子、BSM の破損及び車両ハーネスが断線しないよう慎重に作業をしてください。

7. ミラーホルダー LH (黒) を取りはずす。

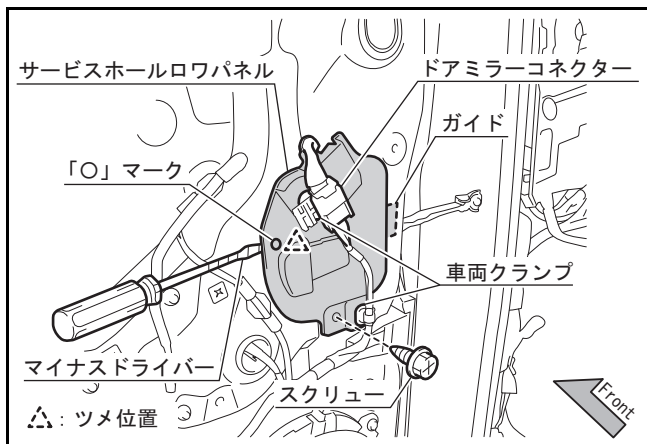


ドアミラーカバー LH の取りはずし

1. ドアミラーカバー LH の周りに傷付き防止用の保護テープを貼り付ける。
2. ツメ (7箇所) の嵌合をはずし、ドアミラーカバー LH を取りはずす。

⚠ 注意

- (1) ドアミラーカバー LH は再使用する為、無理に引っ張ってツメを破損させたり、意匠面に傷を付けないよう慎重に作業をしてください。
- (2) 車両前方側へ平行に引いてください。



サービスホールロウパネルの取りはずし

1. 車両クランプ (2箇所) の嵌合をはずす。
2. スクリュー (1本) をはずす。
3. 図に従い、保護テープを巻いたマイナスドライバーをサービスホールロウパネルとドアパネルの間に挿入し、ツメ (1箇所) の嵌合をはずす。

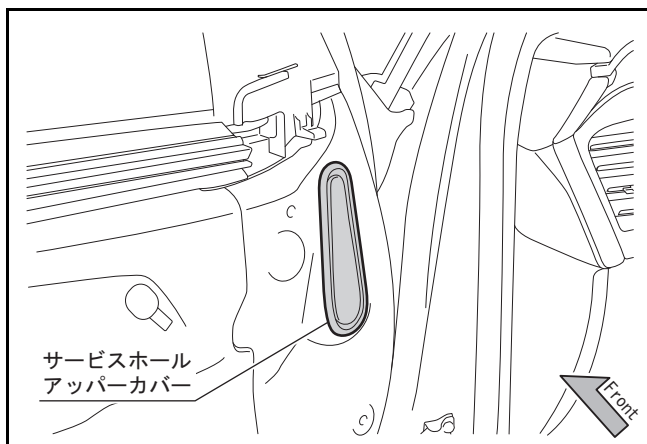
👉 アドバイス

「○」マークが付いている位置にマイナスドライバーを差し込んでください。

4. サービスホールロウパネルを取りはずす。
5. ドアミラーコネクタ (1箇所) の接続をはずす。

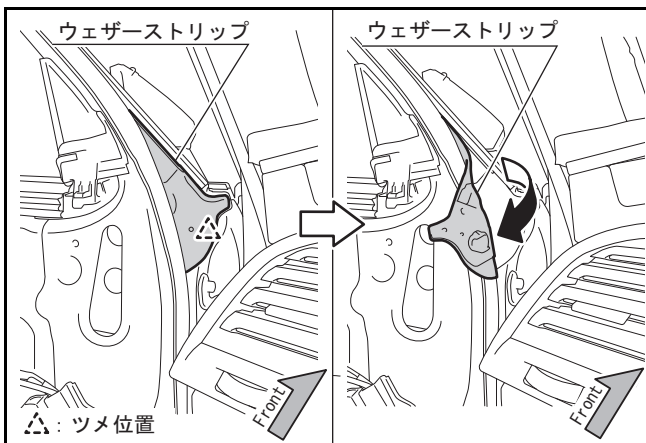
👉 アドバイス

車両の仕様、グレードにより、コネクタ数異なります。



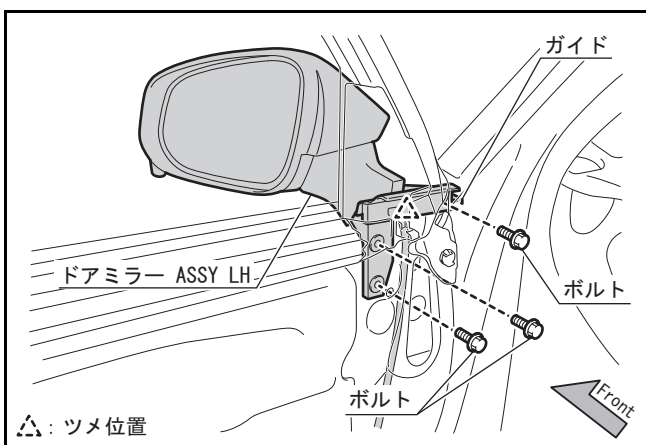
サービスホールアッパーカバーの取りはずし

1. サービスホールアッパーカバーを取りはずす。



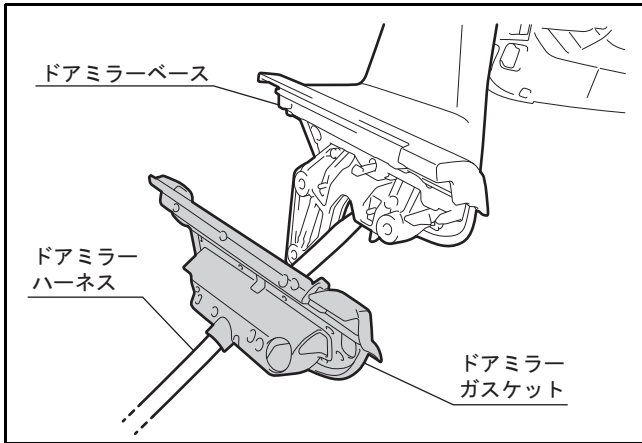
ドアミラー ASSY LHの取りはずし

1. ツメ（1箇所）の嵌合をはずし、ウェザーストリップをめくる。



2. ボルト（3本）及びツメ（1箇所）の嵌合をはずし、ドアミラー ASSY LH を取りはずす。

メモリアクチュエーター組み付け要領

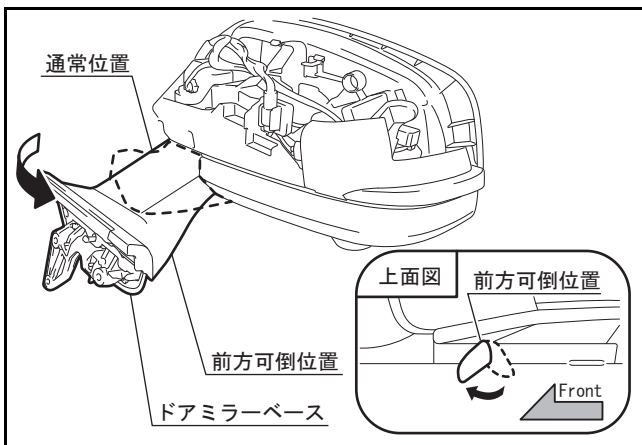


⚠ 注意

メモリアクチュエーターの組み付けは、車両部品の傷付きに注意して、やわらかい布等の上で作業をしてください。

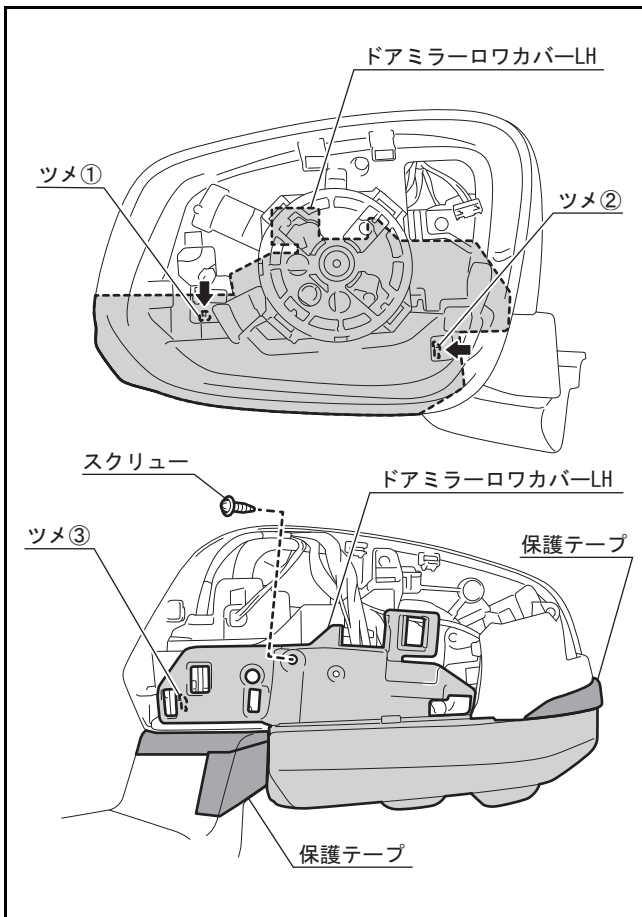
ドアミラーガasketの取りはずし

1. 図に従い、ドアミラーベースからドアミラーガasketを取りはずす。



ドアミラーベースロワカバー LH の取りはずし

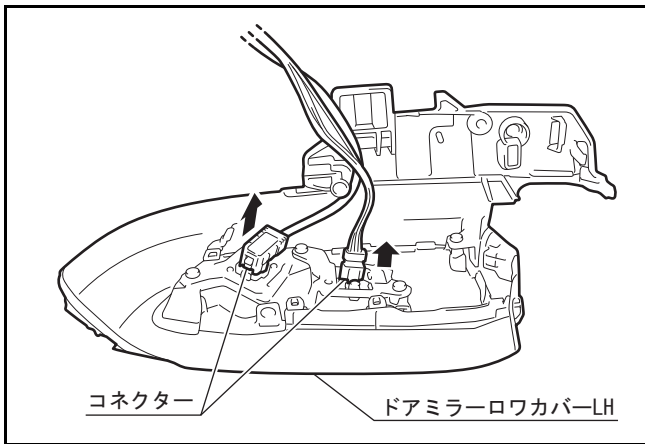
1. ドアミラーベースを回転させて前方可倒状態の位置にする。



⚠ 注意

- (1) ドアミラーロワカバー LH は再使用する為、無理に引っ張ってツメを破損させたり、意匠面に傷を付けないよう慎重に作業をしてください。
- (2) 脱落及びツメの破損を防止する為、ドアミラーロワカバー LH を保持しながら作業をしてください。

1. ドアミラーロワカバー LH の周りに傷付き防止用の保護テープを貼り付ける。
2. スクリュー (1 本) を取りはずす。
3. 図に従い、保護テープを巻いたマイナスドライバーでドアミラーロワカバー LH のツメ (2 箇所) ①②の嵌合をはずす。
4. 残りのツメ (1 箇所) ③の嵌合をはずし、ドアミラーロワカバー LH を取りはずす。

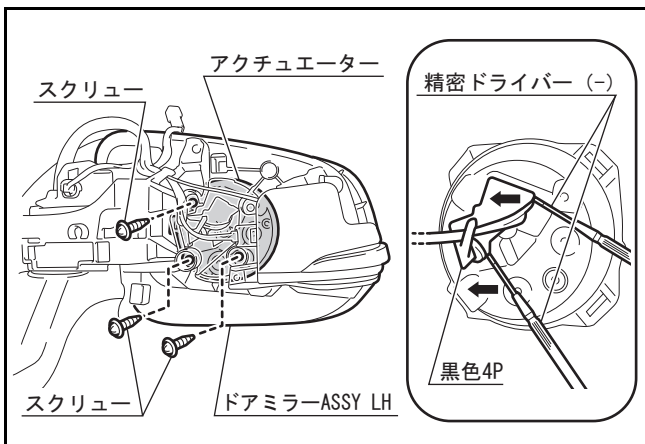


- カメラ付き車は、カメラ及びパーキングアシストランプのコネクタを取りはずし、ハーネスをドアミラーロワカバー LH からはずす。



アドバイス

車両の仕様により、コネクタの数、形状が異なります。



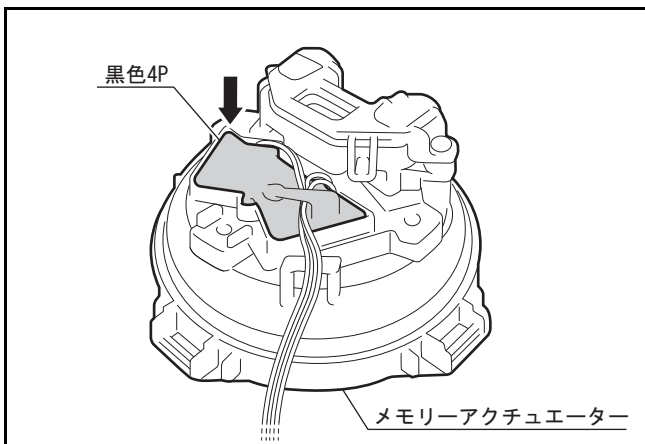
アクチュエーターの取りはずし

- スクリュー (3本) をはずす。
- 黒色 4P コネクタの接続をはずし、アクチュエーターをドアミラー ASSY LH から取りはずす。



注意

- 黒色 4P コネクタをはずす際は、ターミナルが変形する恐れがある為、真っすぐに引き抜いてください。また、フックが変形しないよう注意して作業をしてください。
- 取りはずしたアクチュエーターは再使用できませんが、スクリュー (3本) は再使用します。



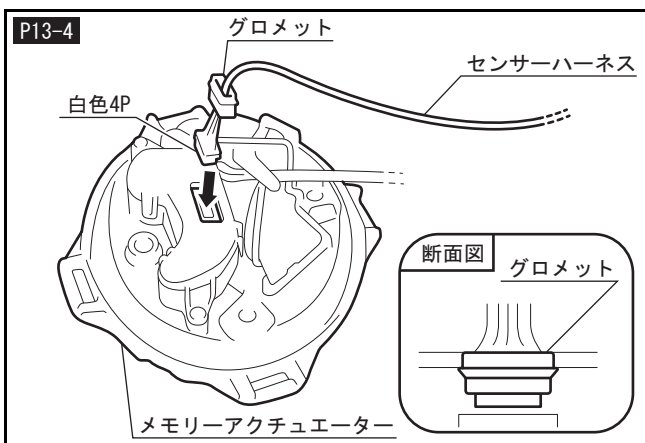
メモリアクチュエーターの取り付け

- ドアミラーハーネスの黒色 4P コネクタをメモリアクチュエーターに接続する。



注意

ターミナルが変形する恐れがある為、ターミナルと端子の位置を合わせ、真っすぐに差し込み、確実に接続してください。

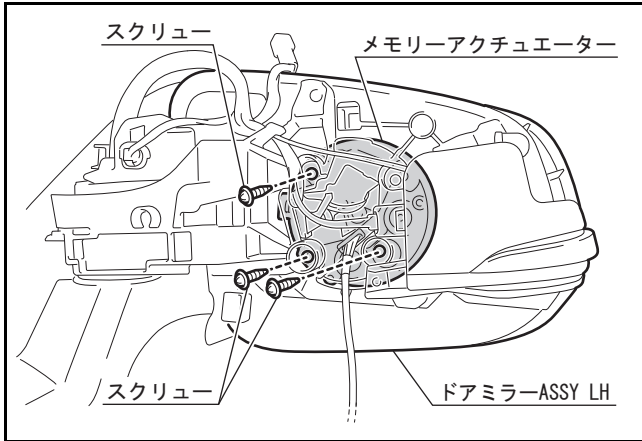


- センサーハーネス (識別記号 [Hム]) の白色 4P コネクタをメモリアクチュエーターに接続する。
- センサーハーネスのグロメットをメモリアクチュエーターに取り付ける。



注意

グロメットが確実に嵌合し、浮きがないことを確認してください。

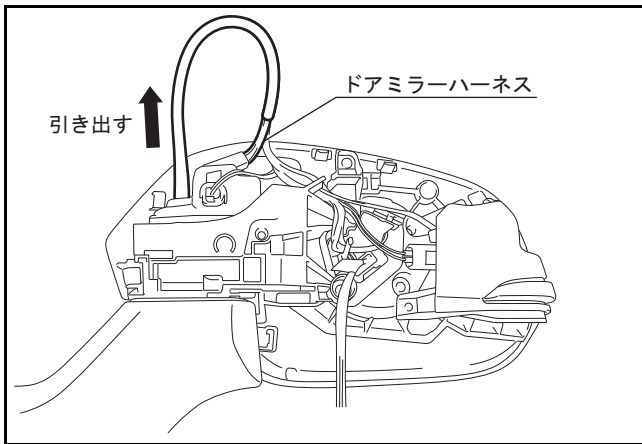


4. 小型トルクレンチとプラスソケットを使用して、ドアミラー ASSY LH を保持しながら、スクリュー (3 本) を締め付けてメモリアクチュエーターを固定する。

⚠ 注意

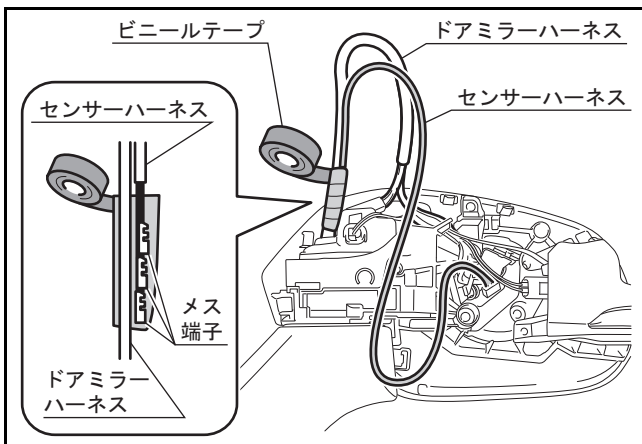
取り付けの際は、トルクレンチを使用して必ず指定のトルクで締め付けてください。

締め付けトルク : 0.4 ~ 1.2N・m

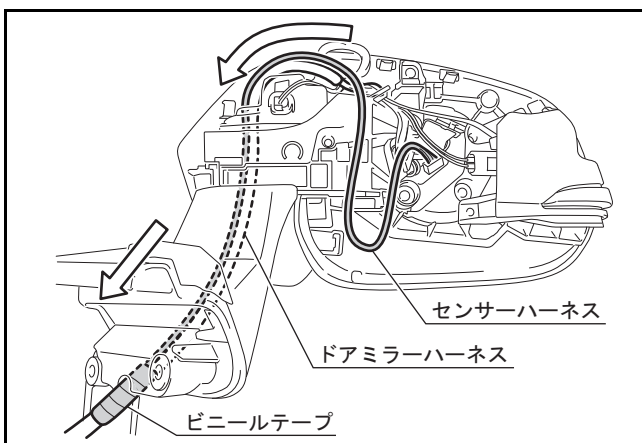


センサーハーネスの配線

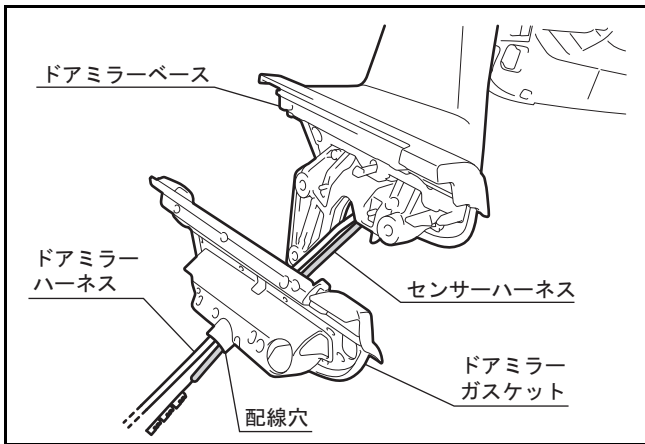
1. センサーハーネスを配線する為、ドアミラーハーネスをコネクタがドアミラーガスケットガスケットに当たるまで引き出す。



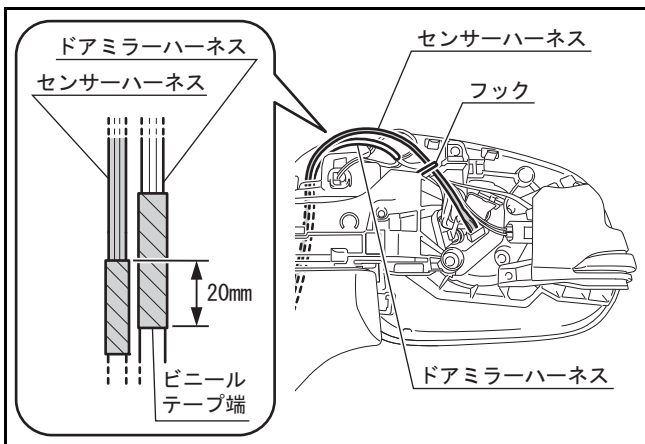
2. センサーハーネスのメス端子 (3 本) をドアミラーハーネスにビニールテープで固定する。



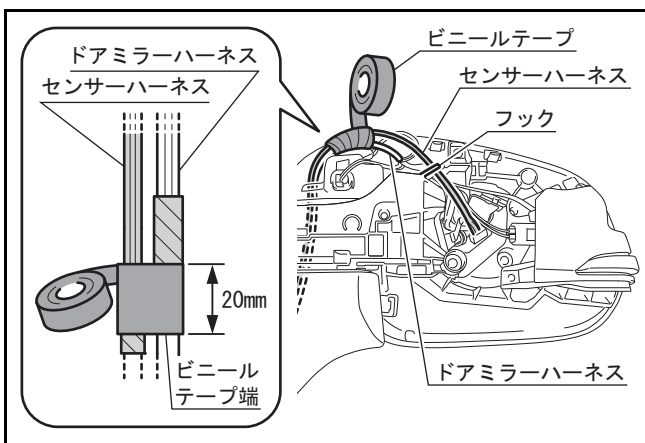
3. センサーハーネスをドアミラーハーネスと共にドアミラーベース内部に通して引き出す。
4. センサーハーネスを固定したビニールテープを剥がす。



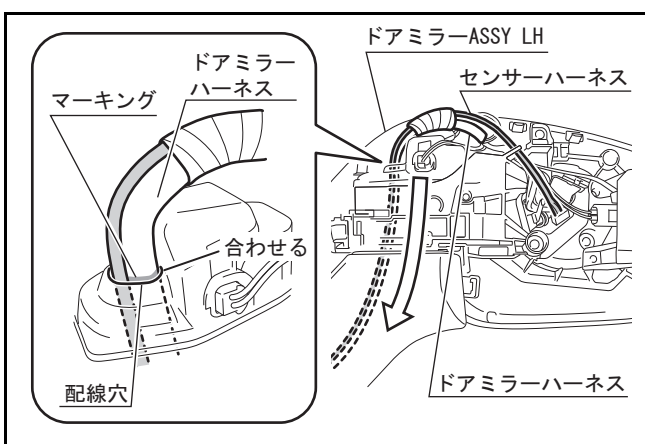
5. センサーハーネスをドアミラーハーネスに沿って、ドアミラーガasketの配線穴まで引き出す。



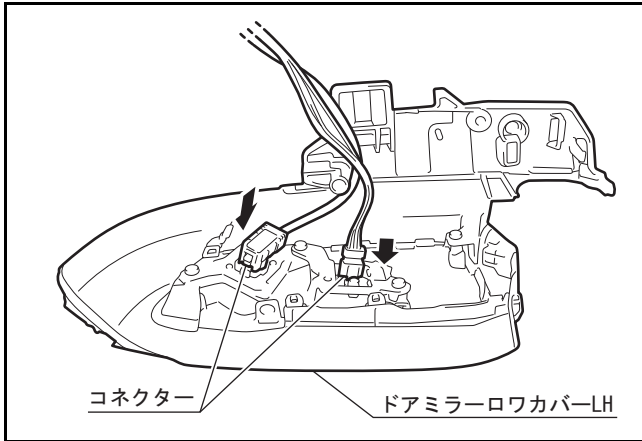
6. センサーハーネスを左図のフックに掛けて固定する。
7. 図に従い、センサーハーネスをドアミラーハーネスに合わせて位置決めする。



8. 図に従い、センサーハーネスをドアミラーハーネスにビニールテープで固定する。

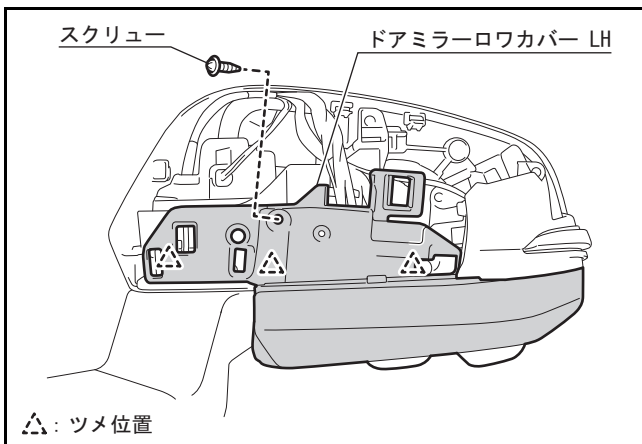


9. センサーハーネス及びドアミラーハーネスを引き出し、ドアミラーハーネスのマーキングをドアミラー ASSY LH の配線穴に合わせる。



カメラコネクター取り付け

1. カメラ付き車は、カメラ及びパーキングアシストランプのコネクターを接続する。



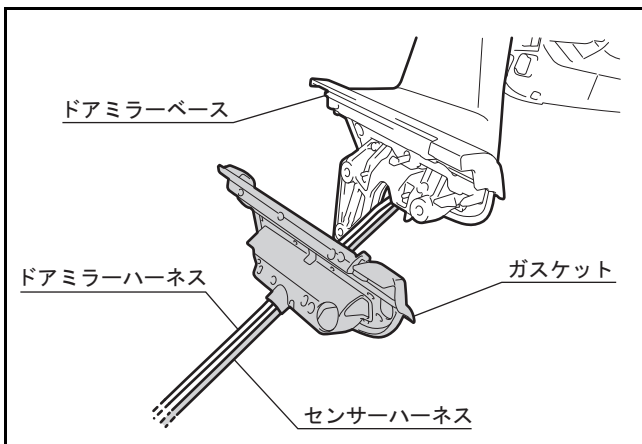
ドアミラーロワカバー LH の取り付け

1. ドアミラーロワカバー LH を正しい取り付け位置に仮合わせする。
2. ツメ (3箇所) 及びスクリュー (1本) を取り付け、ドアミラーロワカバー LH を取り付ける。



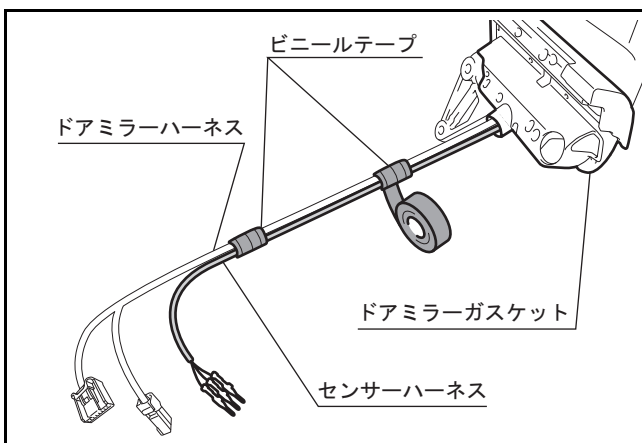
注意

ドアミラーロワカバー LH の意匠面に隙がないことを確認してください。



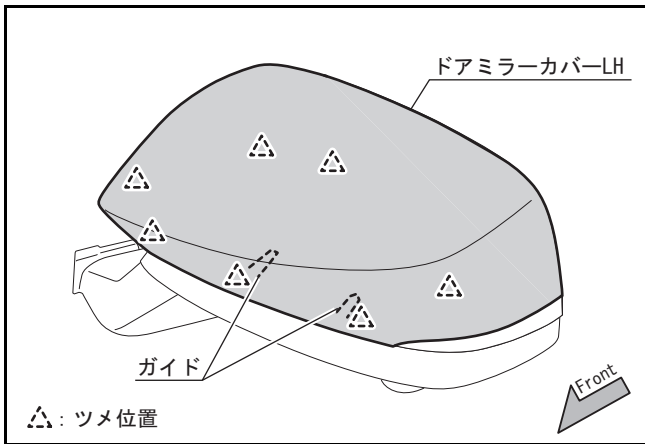
ドアミラーガasketの取り付け

1. センサーハーネスをドアミラーガasketに通す。
2. ドアミラーガasketをドアミラーベースに取り付ける。



センサーハーネスの固定

1. 図に従い、センサーハーネスをドアミラーハーネスにビニールテープ (2箇所) で固定する。

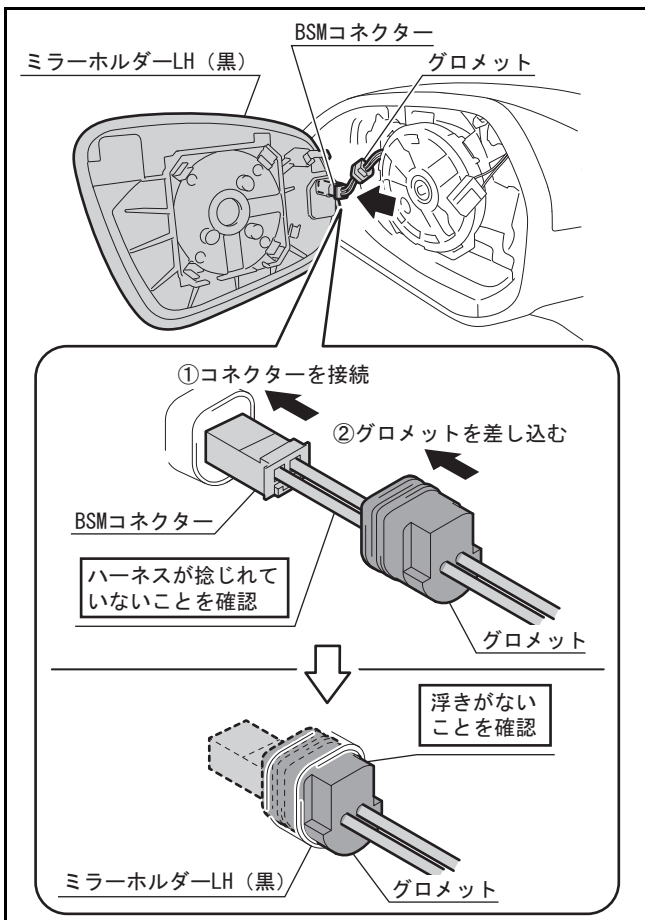


ドアミラーカバー LH の取り付け

1. ドアミラーカバー LH を正しい取付位置に仮合わせする。
2. ツメ (7箇所) を嵌合し、ドアミラーカバー LH を取り付ける。

⚠ 注意

ドアミラーカバー LH の意匠面全周に隙がないことを確認してください。



ミラーホルダー LH の取り付け

1. BSM 付き車は、ミラーホルダー LH (黒) 背面から BSM コネクタを矢印方向に接続する。

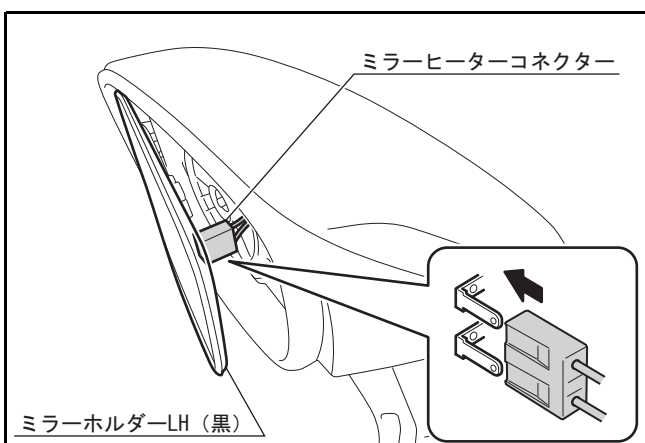
⚠ 注意

車両ハーネスが捻じれないように接続してください。

2. 車両ハーネスのグロメットをミラーホルダー LH (黒) に取り付ける。

⚠ 注意

グロメットは向きを正しく確実に嵌合し、浮きがないことを確認してください。正しく嵌合していない場合、コネクタへ水が浸入する恐れがあります。



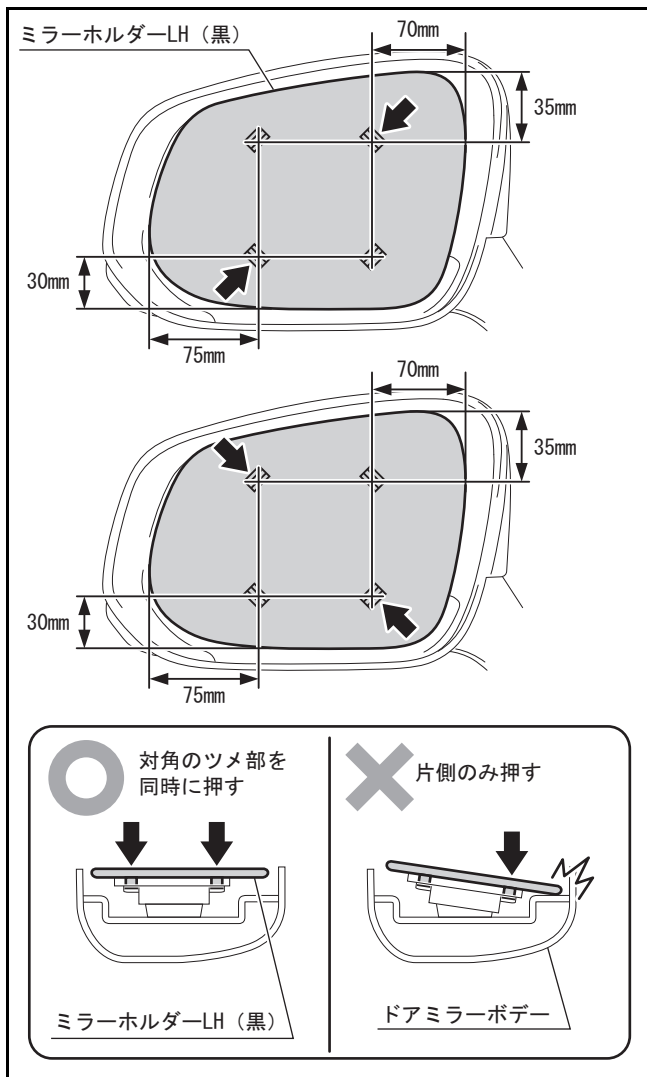
3. ミラーヒーター付き車は、ミラーホルダー LH (黒) 背面からミラーヒーターコネクタを矢印方向に接続する。

⚠ 注意

ミラーホルダー LH (黒) 側の端子やヒーター回路を破損しないよう慎重に作業をしてください。

👉 アドバイス

ミラーヒーターコネクタはどちらの向きで接続しても問題ありません。

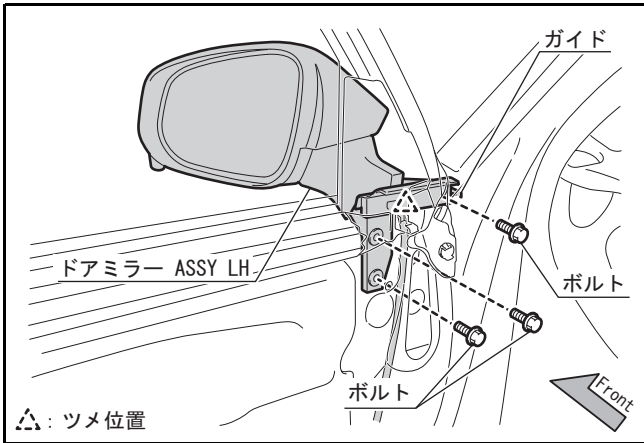


4. プレートピボット (白) をドアミラーボデー開口部と平行にする。
5. ミラーホルダー LH (黒) 裏のツメとプレートピボットの嵌合位置 (4箇所) を合わせる。
6. ミラーホルダー LH (黒) 裏のツメ (2箇所) に相当する位置 (図示斜線部) を同時にパチンと音がするまで押す。

⚠ 注意

- (1) ミラーホルダー LH (黒) が動かないように、必ず対角線上の 2箇所を同時に押してください。
- (2) ミラーホルダー LH (黒) を嵌合させる場合は、必ず指示位置を押してください。
[プレートピボットを傾けた状態で押したり、ミラーホルダー LH (黒) 裏のツメ位置から離れた部分を押しと、鏡面部が割れる場合があります。]
- (3) 鏡面部に指紋や汚れを付けないよう布手袋をするか、きれいな布を当てて鏡面部を押してください。鏡面部に汚れが付着すると、取り付けて直ぐに親水機能を発揮できなくなります。
- (4) ツメの嵌合が固い場合は、ツメ部を人肌程度 (約 40℃) にドライヤーで温めて作業を行ってください。
(ツメの嵌合が固いまま押すとツメが破損し、正規に取り付かなくなる恐れがあります。)

配策要領



ドアミラー ASSY LH の取り付け

1. ボルト (3本) を嵌合させて、ドアミラー ASSY LH をドアパネルに取り付ける。

⚠ 注意

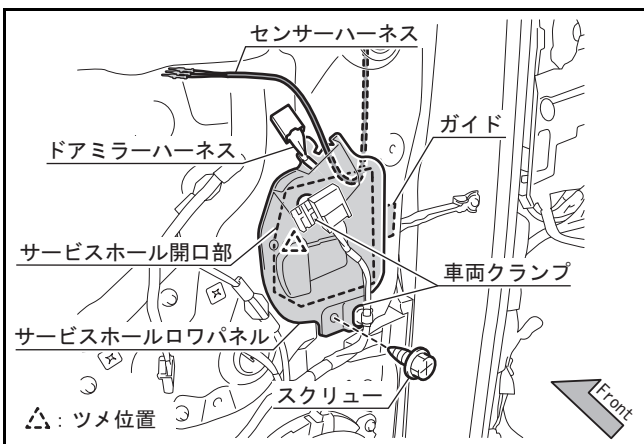
落下防止の為、必ずドアミラー ASSY LH を手で保持して作業を行ってください。

2. トルクレンチを使用して、ボルト (3本) を規定トルクで締め付ける。

⚠ 注意

取り付けの際は、トルクレンチを使用して必ず指定のトルクで締め付けてください。

締め付けトルク : 6.0 ~ 10.0N・m



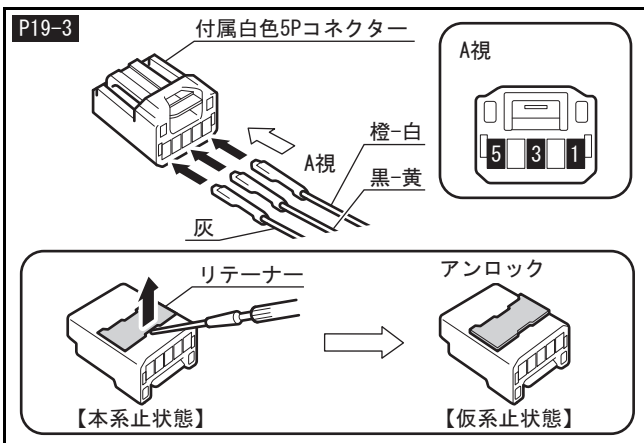
サービスホールロワパネルの取り付け

1. ドアミラーハーネス及びセンサーハーネスをサービスホール開口部に通す。
2. スクリュー (1本) 及びツメ (1箇所) を嵌合しサービスホールロワパネルを取り付ける。

⚠ 注意

ハーネスを噛み込まないようにしてください。

3. 車両クランプ (2箇所) を取り付ける。

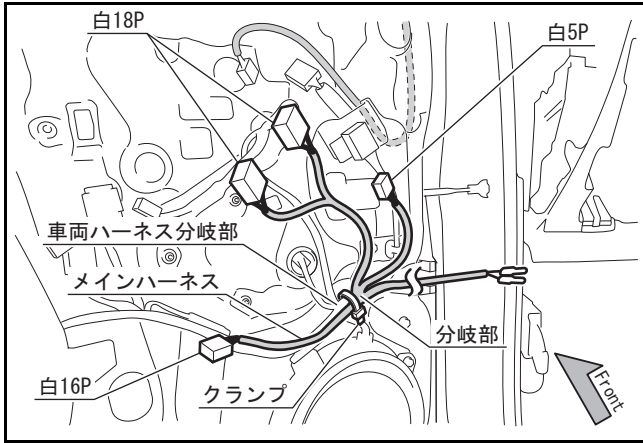


白色 5P コネクタ取り付け

1. キット同梱の白色 5P コネクタ (メス) のリテーナーを精密ドライバー (−) で仮係止位置まで戻す。
2. 図に従い、ドアハーネスのオス端子を白色 5P コネクタ (メス) に挿入する。
 - ・ 橙 - 白コード → 1 番
 - ・ 黒 - 黄コード → 3 番
 - ・ 灰コード → 5 番
3. 白色 5P コネクタ (メス) のリテーナーをロックする。

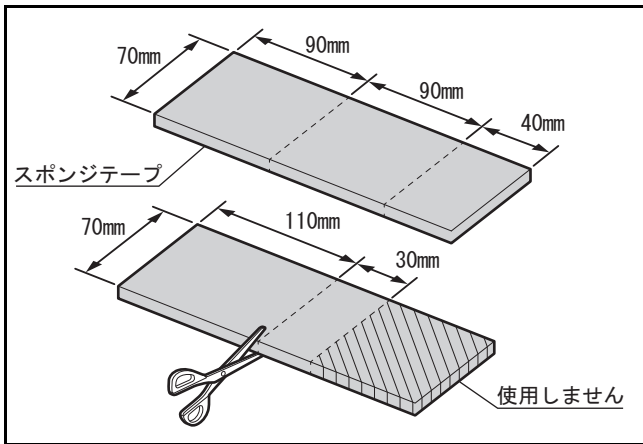
⚠ 注意

車両火災及び作動不良の恐れがある為、挿入する端子番号及びコード色をよく確認し、リテーナーで端子を確実にロックしてください。



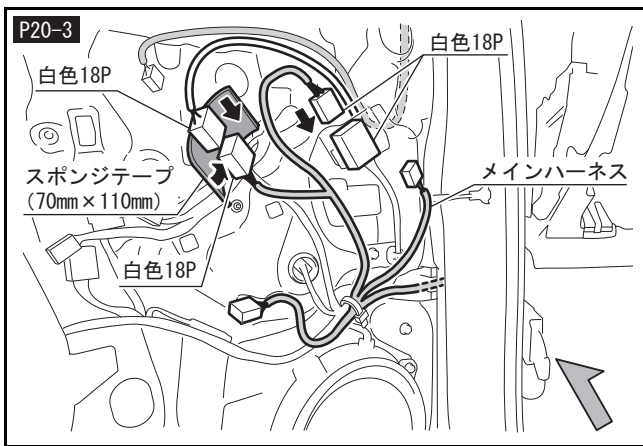
メインハーネスの固定

1. 図に従い、メインハーネス（識別記号 [Rモ]）の分岐部を車両ハーネス分岐部に合わせ、クランプで固定（1箇所）する。

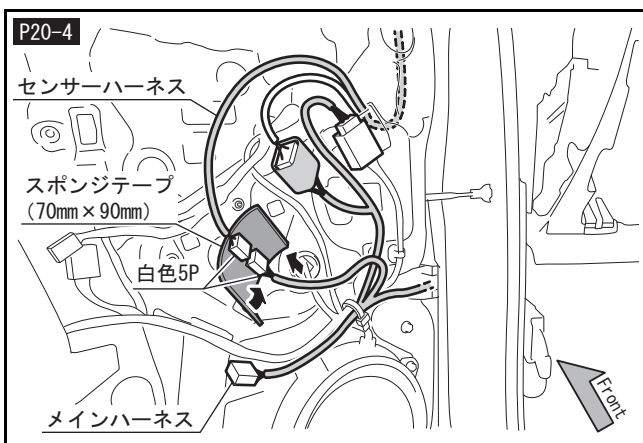


メインハーネスの接続

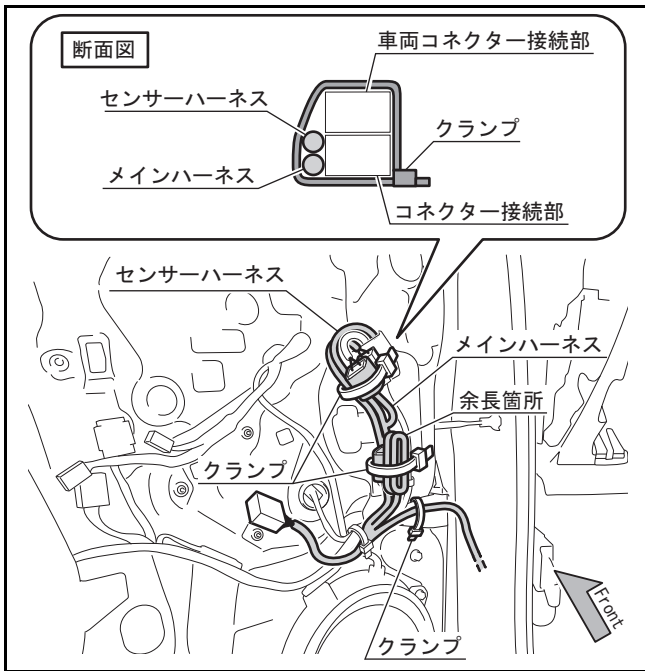
1. 図に従い、スポンジテープをカットする。



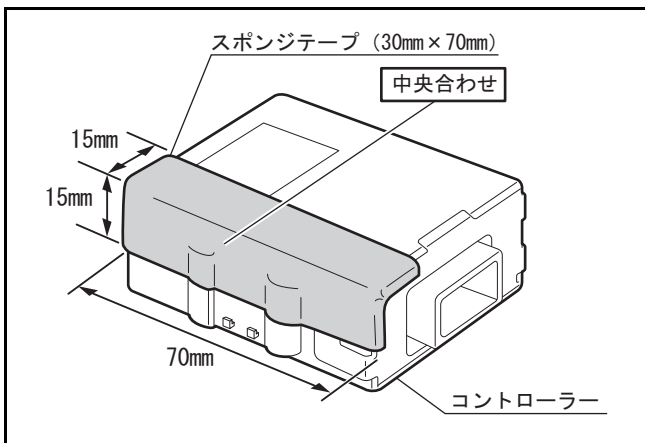
2. 図に従い、車両ドアハーネスの白色 18P コネクター（メス）とメインハーネスの白色 18P コネクター（オス）を接続し、カットしたスポンジテープ（70mm×110mm）を貼り付ける。
3. 図に従い、メインハーネスの白色 18P コネクター（メス）と車両ドアハーネスの白色 18P コネクター（オス）を接続する。



4. 図に従い、メインハーネスの白色 5P コネクター（メス）とセンサーハーネスの白色 5P コネクター（オス）を接続し、カットしたスポンジテープ（70mm×90mm）を貼り付ける。

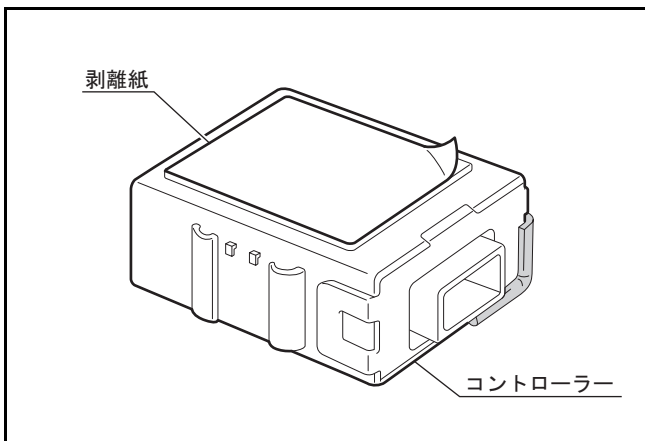


5. 図に従い、コネクタ接続部及びメインハーネスを車両コネクタ接続部、車両ドアハーネスにクランプで固定 (2箇所) する
6. 図に従い、メインハーネスの余長を束ね、車両ドアハーネスにクランプで固定 (1箇所) する。

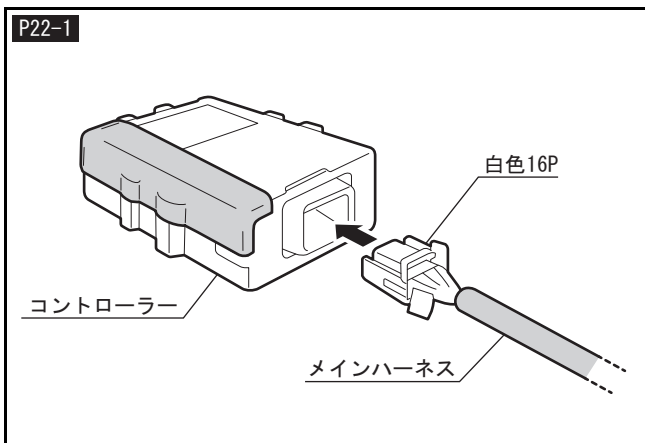


コントローラーの接続

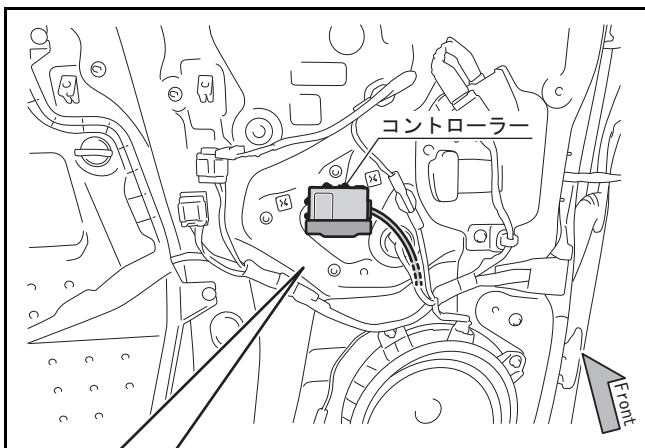
1. 図に従い、スポンジテープ (30mm×70mm) を貼る。



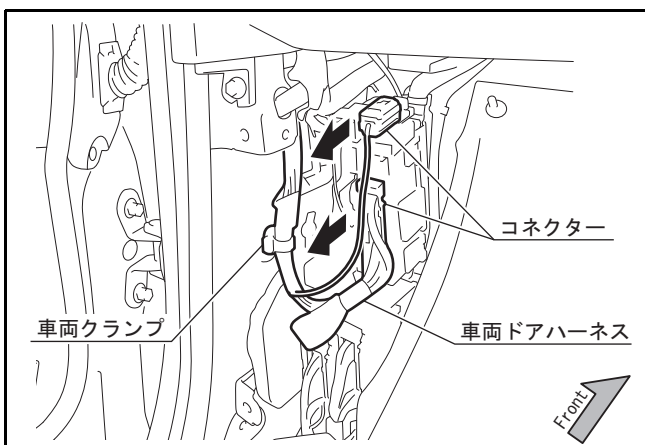
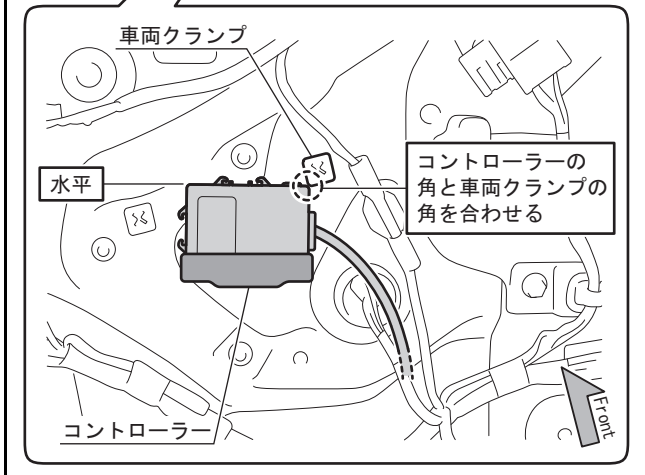
2. コントローラーの剥離紙を剥がす。



3. コントローラーにメインハーネスの白色 16P コネクターを接続する。

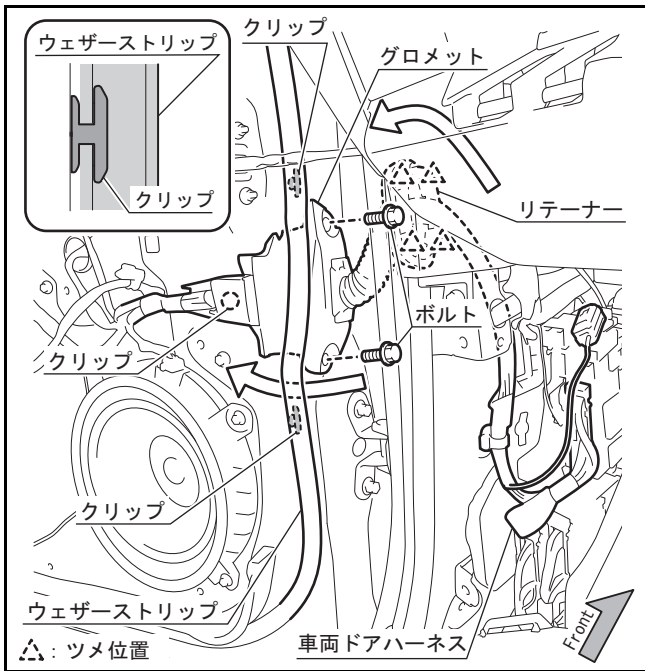


4. 図に従い、コントローラー貼り付け面の油やホコリ等を取り除き脱脂し、コントローラーを貼り付ける。



車両ドアハーネスの切り離し

1. 車両ドアハーネスのコネクター (2箇所) の接続を切り離し、車両クランプ (1箇所) の嵌合をはずす。



グロメットの取りはずし

1. 図に従い、フロントドアパネル側のウェザーストリップからクリップ（2箇所）を抜き取り、浮かせる。

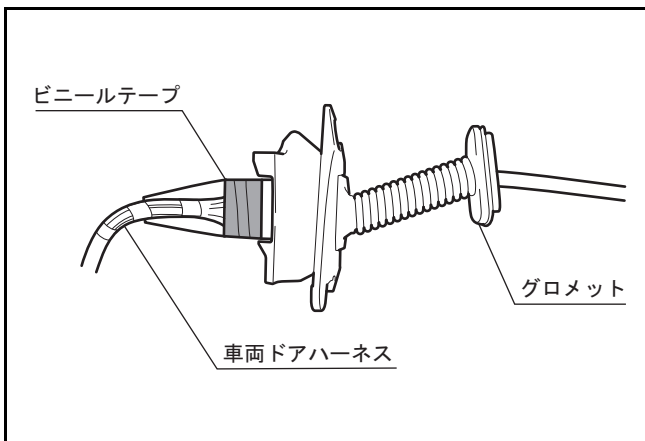
アドバイス

ウェザーストリップからクリップを抜き取る際は、ウェザーストリップのクリップ穴を破損しないように十分注意してください。

2. グロメットを固定しているボルト（2本）及びクリップの嵌合をはずす。
3. グロメットの嵌合をはずし、車両ドアハーネスをドア側に引き出す。

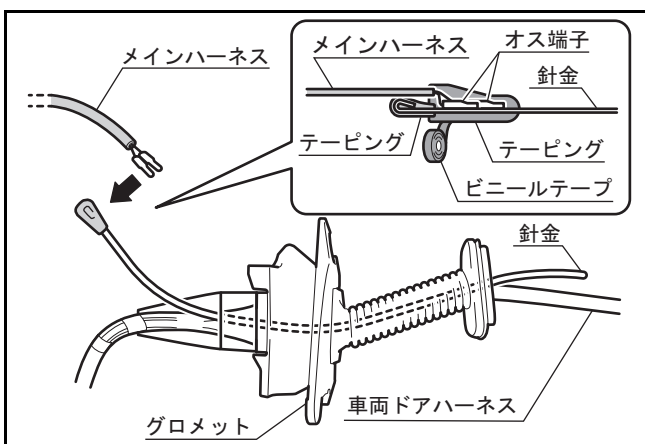
アドバイス

グロメットを引き出す際は、リテーナーのツメ（4箇所）の嵌合をはずして一緒に引き出してください。

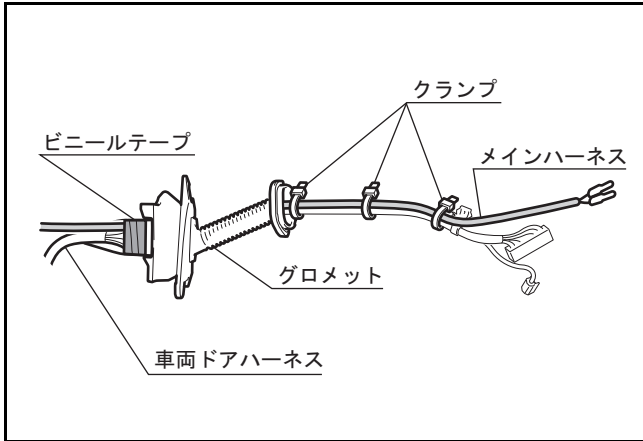


メインハーネスの配線

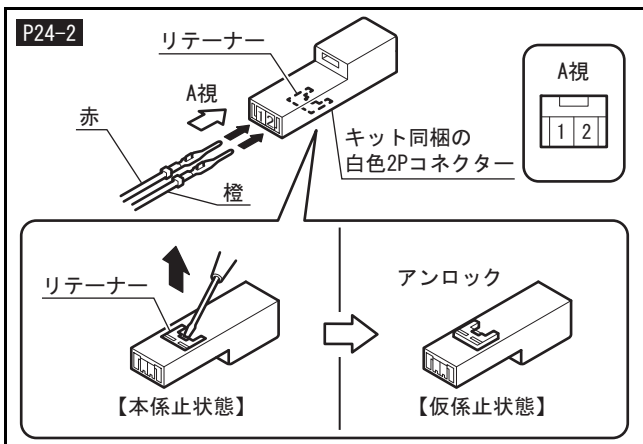
1. 車両ドアハーネスのグロメットから図に示す位置のビニールテープを取りはずす。



2. 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングする。
3. 先端をテーピングした針金をグロメットの室内側からドア側へ通す。
4. メインハーネスのオス端子を針金にテーピングする。
5. 針金を室内側に引き戻し、メインハーネスをグロメット内に通す。



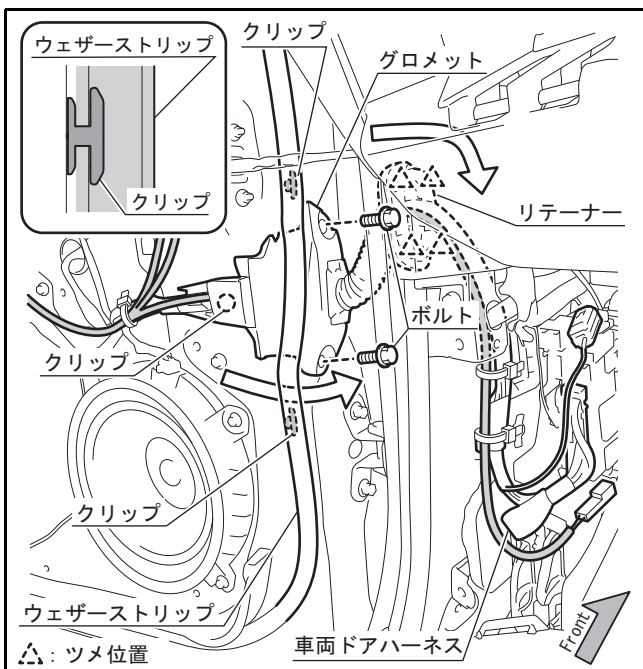
6. 図に従い、メインハーネスをビニールテープでグロメットに固定する。
7. 図に従い、メインハーネスをクランプで車両ドアハーネスに固定 (3箇所) する。



8. キット同梱の白色 2P コネクタ (オス) のリテナーを精密ドライバー (-) で仮係止位置まで戻す。
9. 図に従い、メインハーネスのオス端子を白色 2P コネクタ (オス) に挿入する。
 - ・ 赤コード → 1 番
 - ・ 橙コード → 2 番
10. 白色 2P コネクタ (オス) のリテナーをロックする。

⚠ 注意

車両火災及び作動不良の恐れがある為、リテナーを確実にロックしてください。



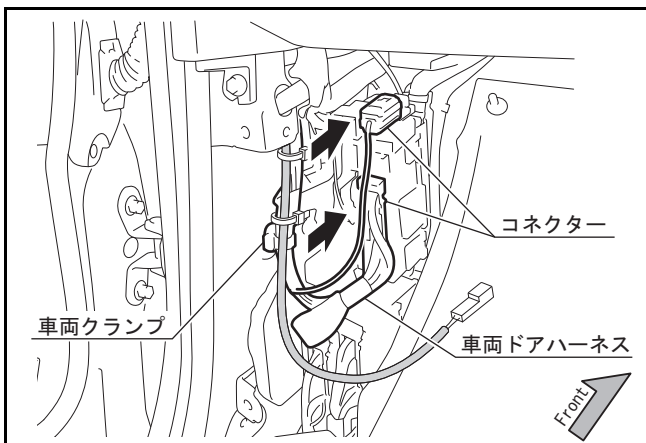
グロメットの復元

1. グロメット及びリテナーを復元する。

⚠ 注意

浸水防止の為、グロメット及びリテナーは確実に嵌合させてください。

2. メインハーネスを固定した車両ドアハーネス及びウェザーストリップを復元する。

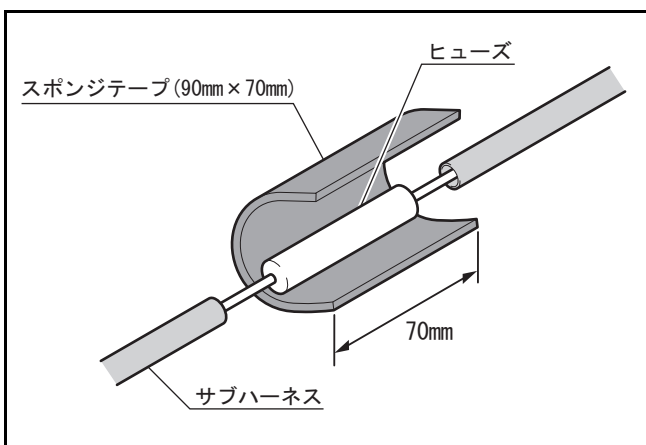


車両ドアハーネスの復元

1. 図に従い、車両クランプ (1箇所) 及びコネクター (2箇所) を復元する。

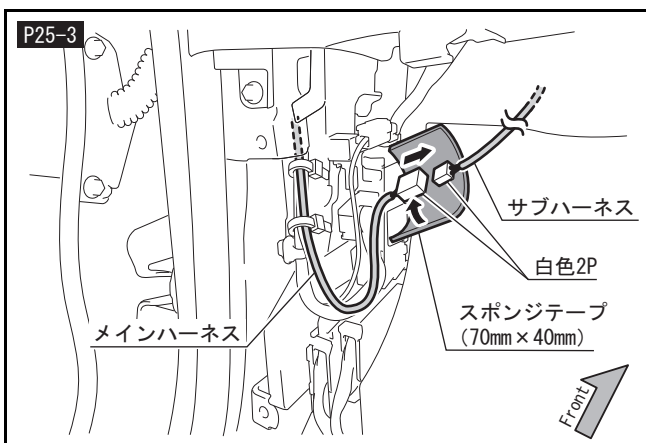
アドバイス

車両の仕様、グレードにより、コネクター数が異なる場合があります。

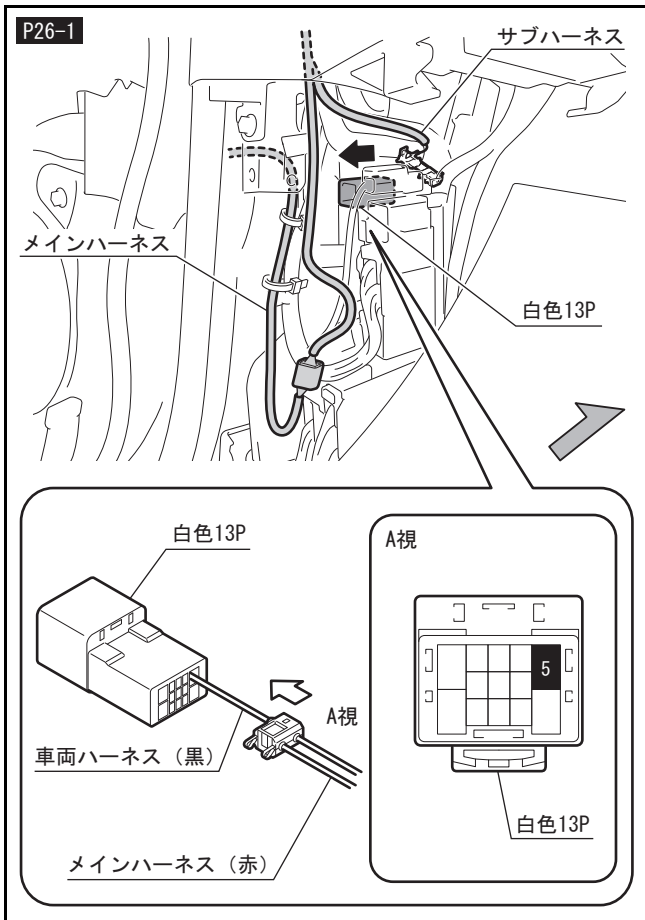


サブハーネスの配線

1. カットしたスポンジテープ (90mm x 70mm) をサブハーネスのヒューズに貼り付ける。



2. 図に従い、サブハーネス (識別記号 [Rヤ]) の白色 2P コネクター (メス) とメインハーネスの白色 2P コネクター (オス) を接続し、カットしたスポンジテープ (70mm x 40mm) を貼り付ける。



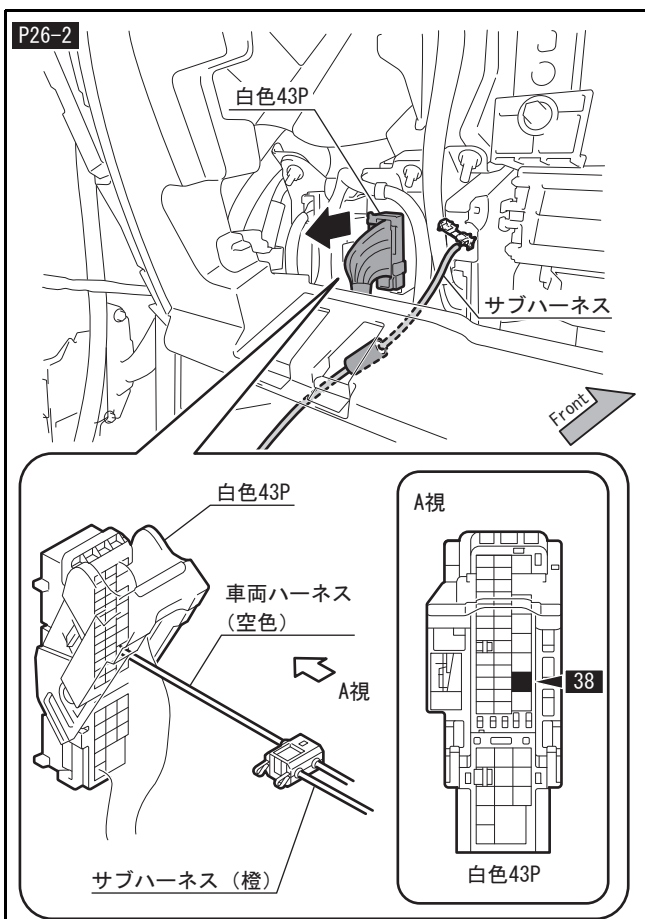
分岐コネクターの接続

1. 図に従い、白色 13P コネクタを取り出す。
2. 図に従い、取り出した白色 13P コネクタ (メス) にサブハーネスの分岐コネクタを接続する。

車両 : 5 番コード (黒)



用品 : 赤コード



3. 図に従い、白色 43P コネクタを取り出す。
4. 図に従い、取り出した白色 43P コネクタ (メス) にサブハーネスの分岐コネクタを接続する。

車両 : 38 番コード (空色)



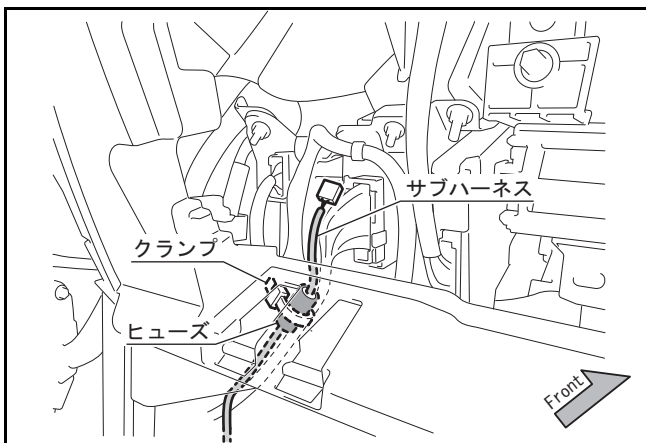
用品 : 橙コード



注意

コネクタ脱着の妨げになる為、分岐コネクタは、レバーの可動域を避けて接続してください。

5. 白色 43P コネクタを復元する。

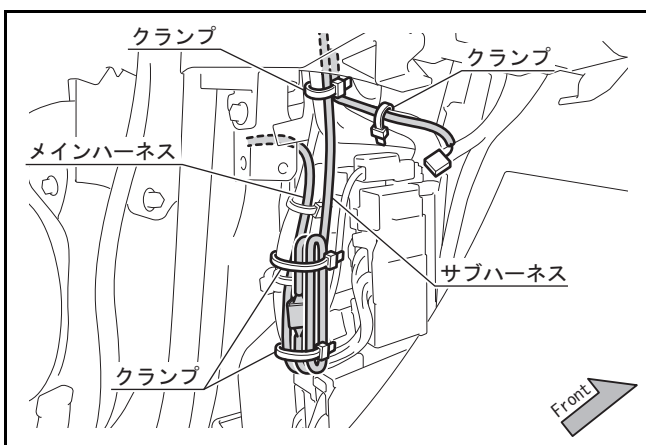


サブハーネスの固定

1. 図に従い、サブハーネスのヒューズを車両ハーネスにクランプで固定（1箇所）する。



注意
 グラブコンパートメントドアの開閉を妨げないように固定してください。



2. 図に従い、メインハーネス及びサブハーネスを車両ハーネスにクランプで固定（4箇所）する。

作動確認

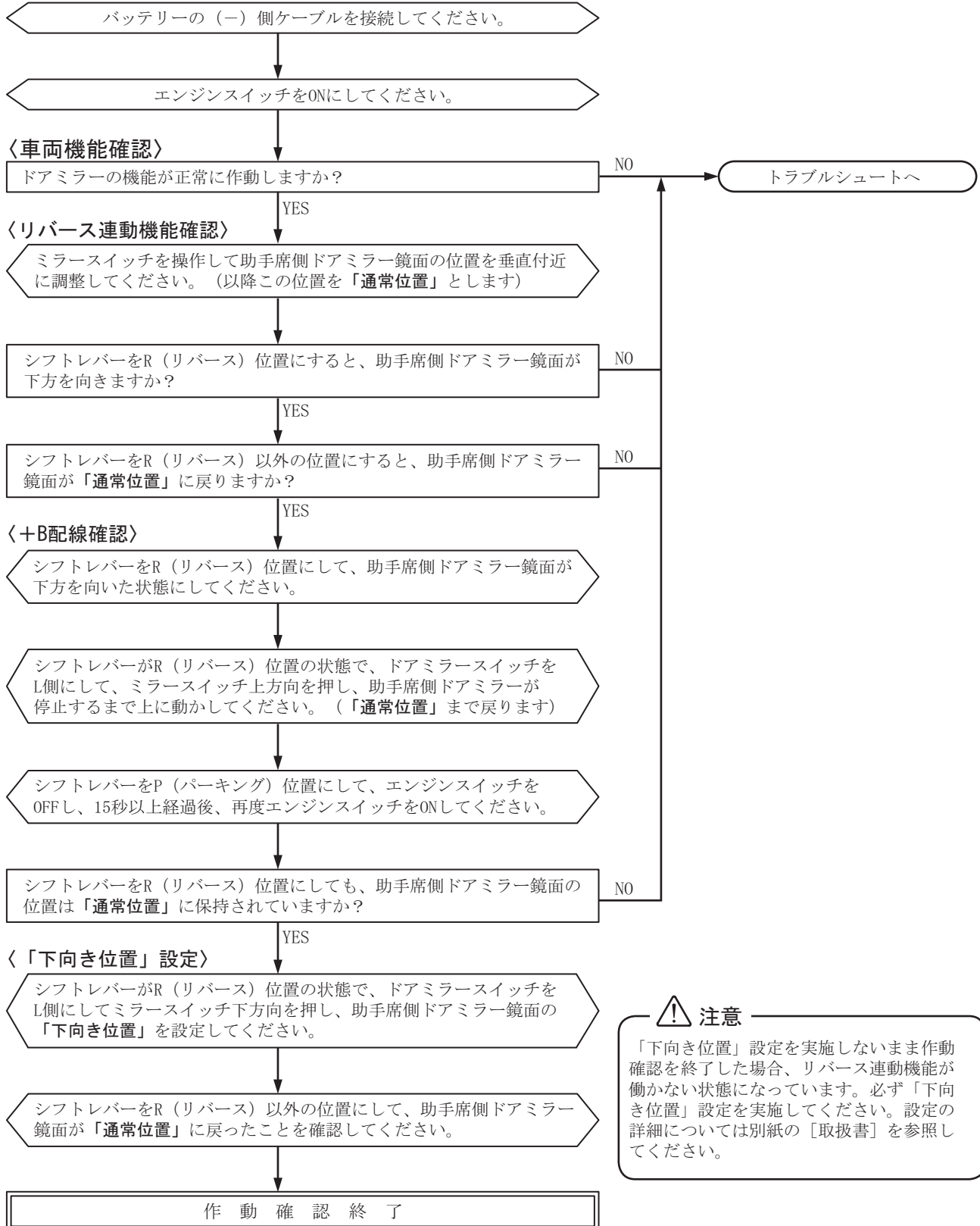
1. 取り付けの確認

作動確認の前に、配線や取り付けに異常がないことを確認してください。

2. 作動確認

以下の手順に従い、作動確認を行ってください。

また、作動不良が発生した場合は、トラブルシュートに移り、点検を実施してください。

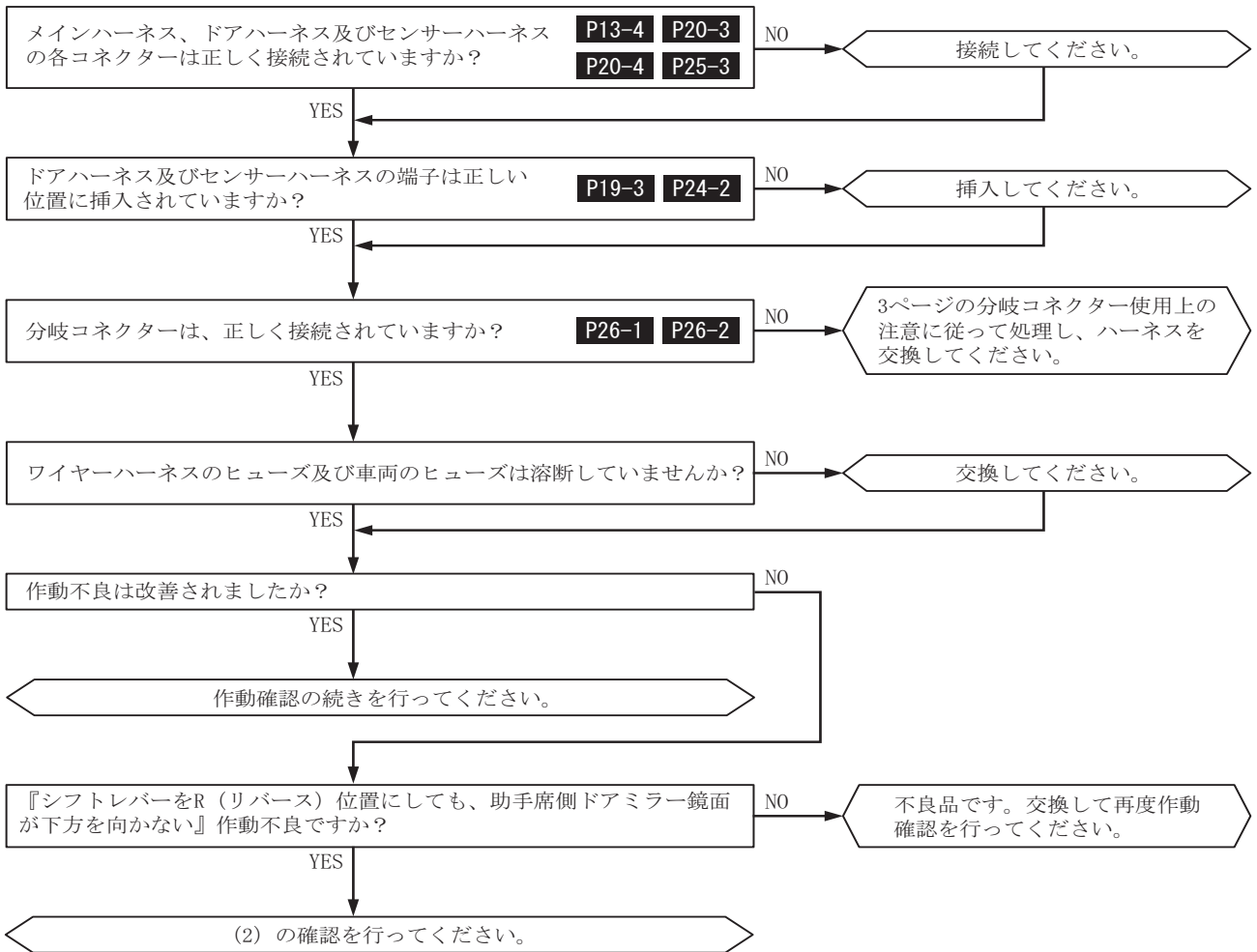


⚠ 注意

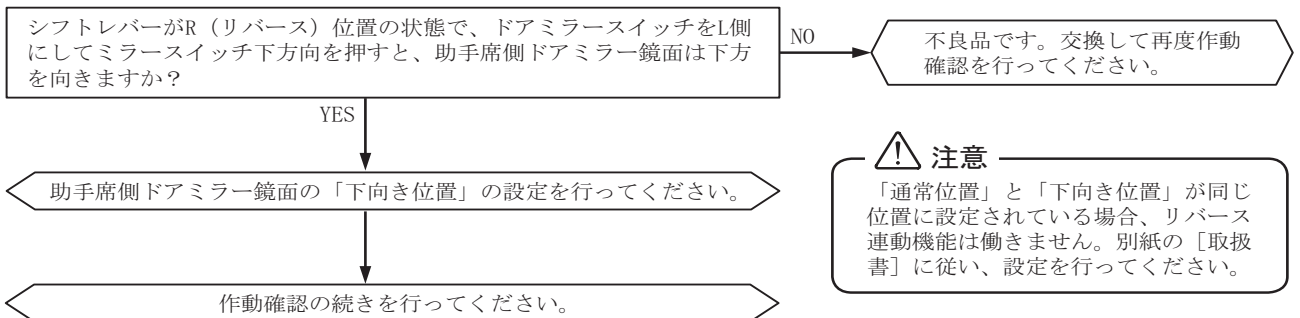
「下向き位置」設定を実施しないまま作動確認を終了した場合、リバース連動機能が働かない状態になっています。必ず「下向き位置」設定を実施してください。設定の詳細については別紙の「取扱書」を参照してください。

トラブルシュート

(1) 取り付け確認



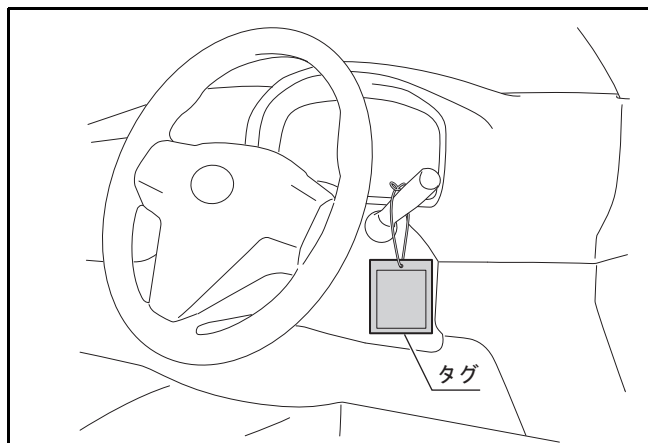
(2) シフトレバーをR（リバース）位置にしても、助手席側ドアミラー鏡面が下方を向かない



⚠ 注意

「通常位置」と「下向き位置」が同じ位置に設定されている場合、リバース連動機能は働きません。別紙の「取扱書」に従い、設定を行ってください。

タグの取り付け



タグの取り付け

タグをターンレバーに取り付ける。



注意

タグは必ず取り付けてください。

復元作業

「作動確認」完了後、取りはずした車両部品を下記の点に注意し、元通りに取り付けてください。



注意

復元作業は、車両ハーネス及び用品ハーネスの噛み込みや、車両部品の損傷に十分注意してください。

バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。

車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。

※ 車両システムの初期化には、GTS+ 等のツールが必要な場合があります。

最終確認

1. ハーネス類の噛み込み及び車両部品の取り付けミスがないかもう一度確認してください。
2. ドアミラー・ドアロック・パワーウインドウ等、電気系統に異常がないか確認してください。

